桃色サンドイッチ

by SSAEM

R 桃色サンドイッチ

SSAEM

合本版 1

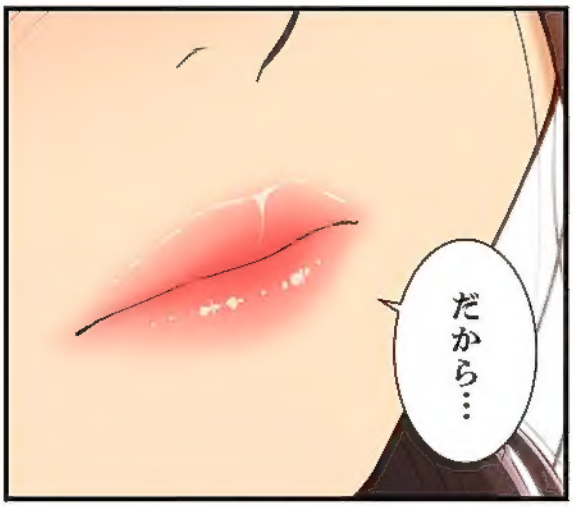
はぁ
はぁっ
はぁ
はぁっ
はぁ
はぁっ
はぁ
あぁっ
慎(しん)…
私もう…
これ以上は…！

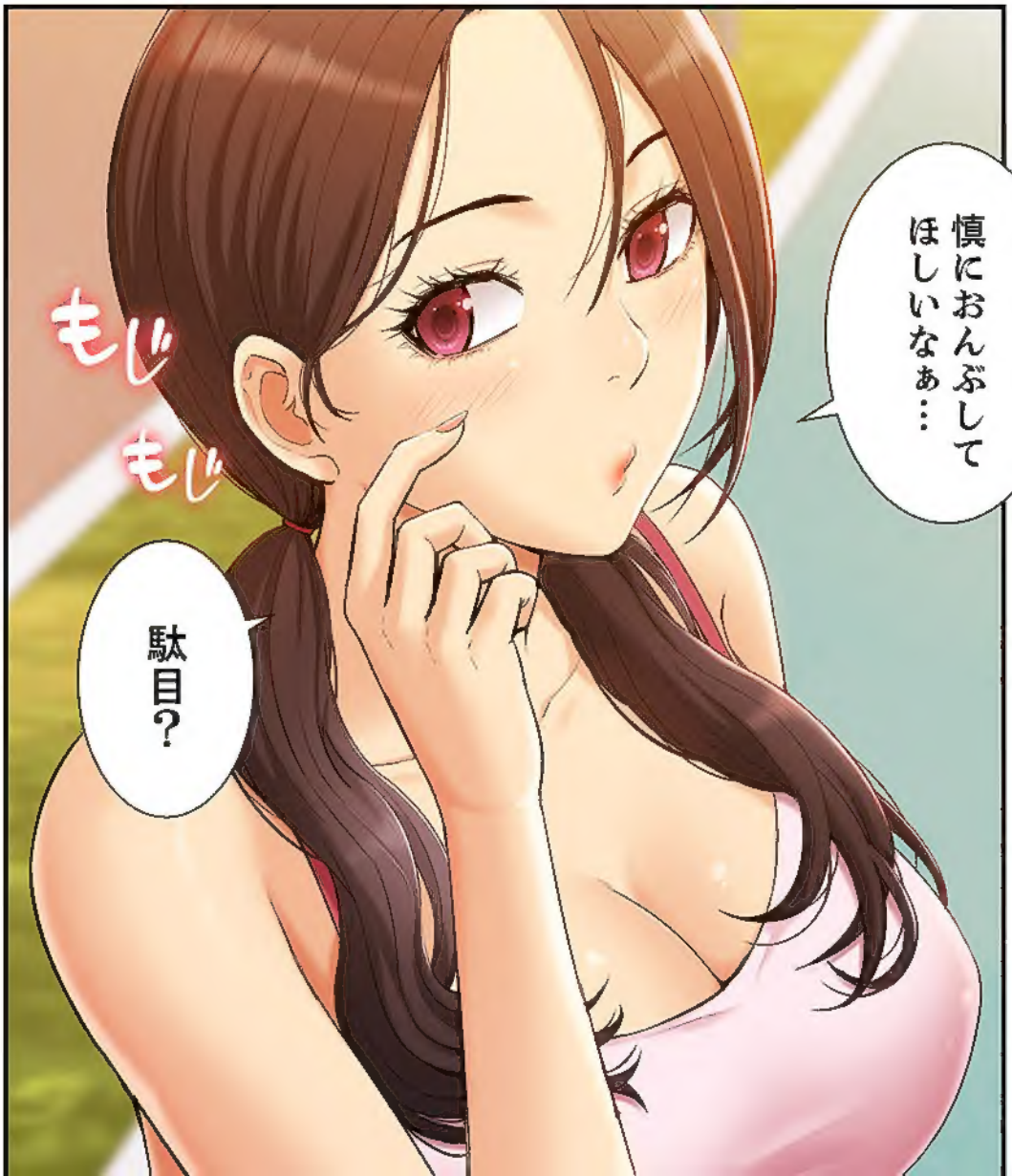
だって
疲れたんだもん
休憩させて～！
ドサッ

走れないよ～！
え？
ドサッ

まだ大して
走ってないだろ？
adidas

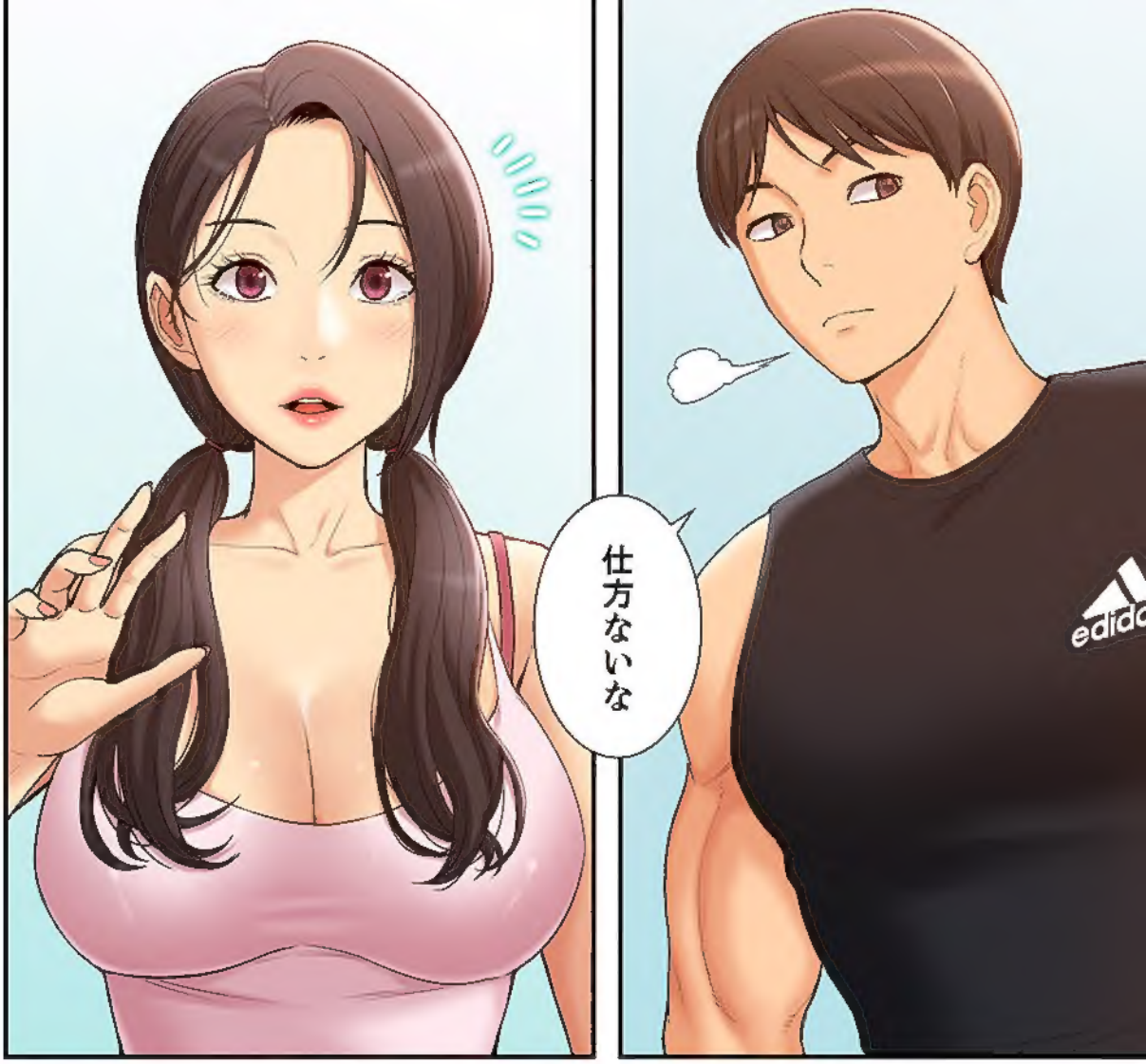
こんな所に座るなよ…
休みたいなら
家まで戻れって
嫌！
疲れた！


だから…


慎におんぶして
ほしいなぁ…
もじ
もじ
駄目？

ふっ…

そのまま
そこに座ってな
待ってよ～！
adidas

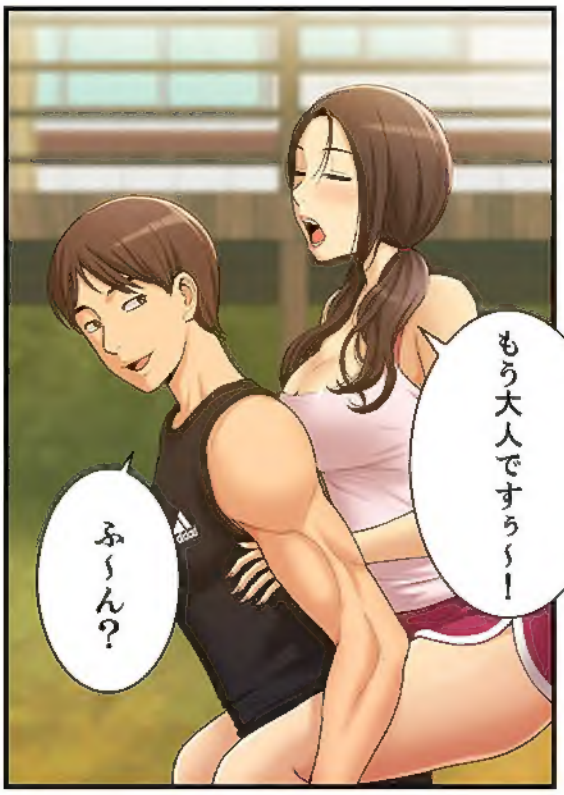

仕方ないな

今回だけだぞ？
スッ

っしょ…！
ワレイッ

スッ

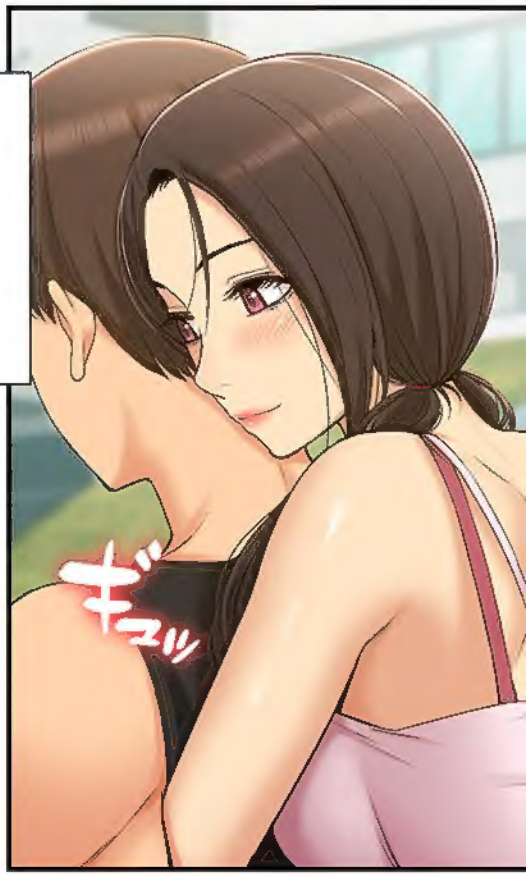
莉奈もう18歳だろ？
こんなに子供っぽくて
どうすんだよ…
！


ふ～ん？
もう大人ですぅ～！

わ…私の
どこが子供っぽいの!?

ほら！
むぅ…

どう？
大人でしょ？
……

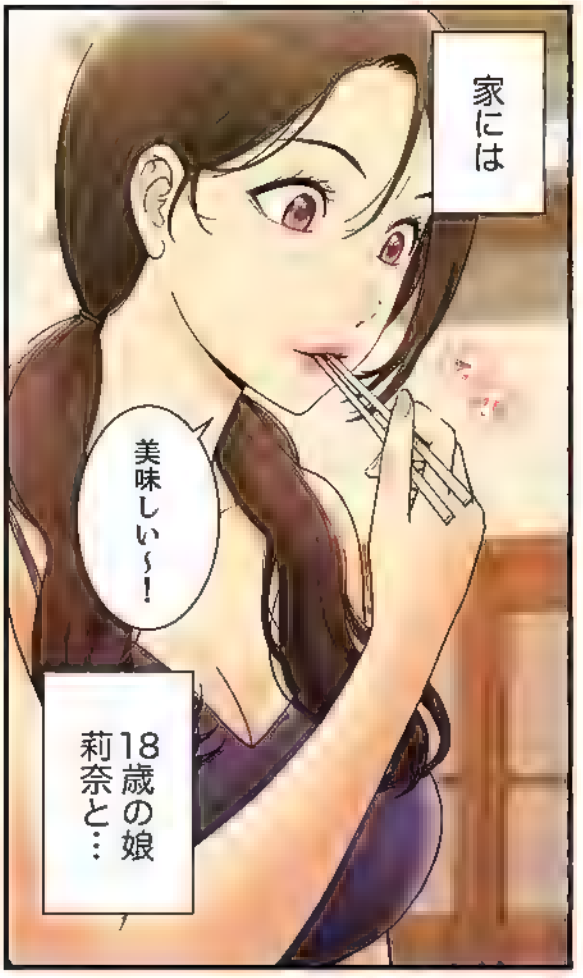


慎以外には

こんな事
絶対しないんだから

大学進学を期に上京し
それからずっと
この下宿先で
世話になっている

この家に
住み始めて2年


家には
美味しい～！
18歳の娘
莉奈と…

これも
食べる？
その母親の涼子さんが
暮らしている
涼子さんは確か
36歳だったか？

私もそれ食べた～い
涼子さんは早くに莉奈を生んで一人で育てている
最近おかずが沢山で嬉しいです
俺の分の食費足りてますか？もっと出しますよ

二人と俺はすぐに打ち解けて
いいのよ
気にせず好きなだけ食べてね
今では本当の家族のように暮らしている

ねぇ慎！
今日時間ある？
あるけど…何？
大学の入学祝いに
プレゼントくれるって
約束したでしょ？
そろそろ
欲しいなぁ～って！
えっ…今日？

あ～…うん
そうだな
いいよ

だって慎がなかなか
くれないから…
時間あるなら
いいでしょ？

やった～！
ありがとう！
おい！
食事中だぞ!?

もしもし
千尋(ちひろ)ちゃん？

ふぅ…

慎くんごめんね
莉奈の我が儘に
付き合わせて…
無理してない？

いぇ
大丈夫です

家に男の人が
居なかったから
あの子は慎くんの事を
お父さんやお兄ちゃん
みたいに思ってるみたい

俺もですよ
二人の事は
家族だと思ってます

莉奈の事は
本当の妹みたいに
思っています

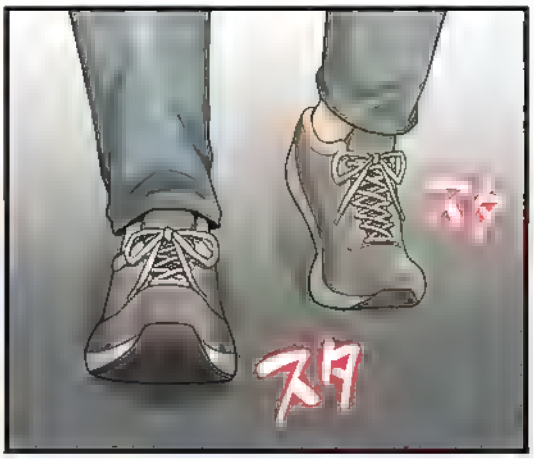
ご馳走様でした

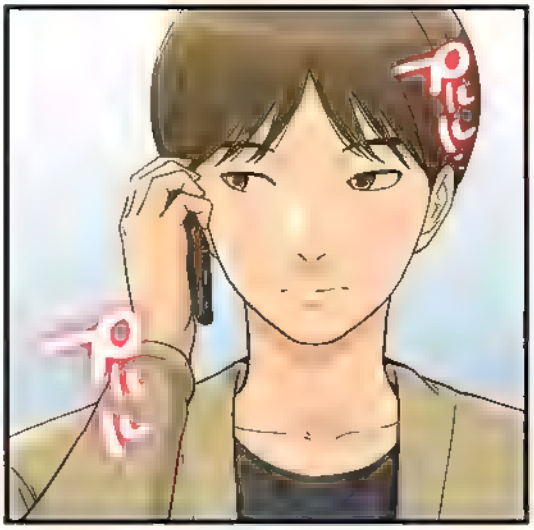
いえ…

ちょっと
出掛けてきます
あら…
コンビニ?
スタ

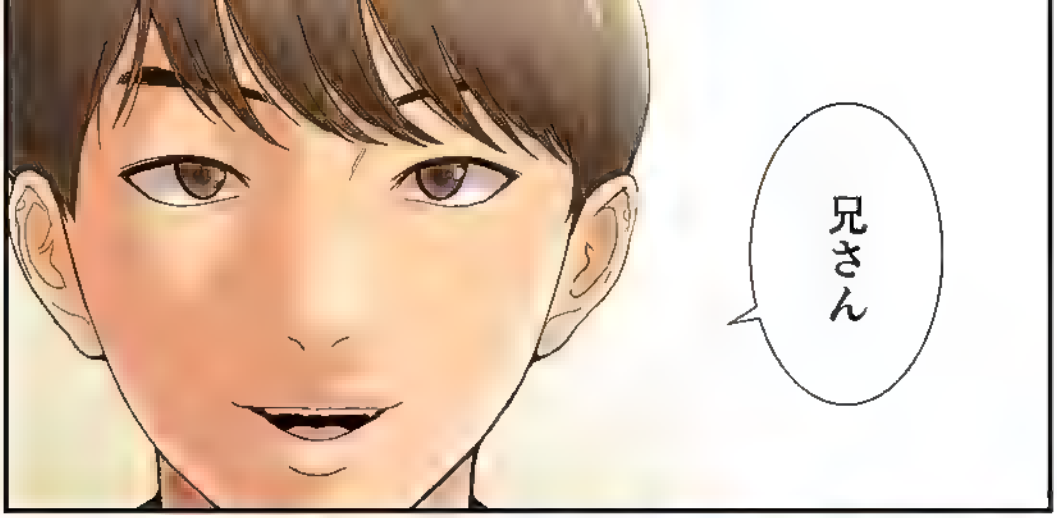
ちょっと
人と会いに…

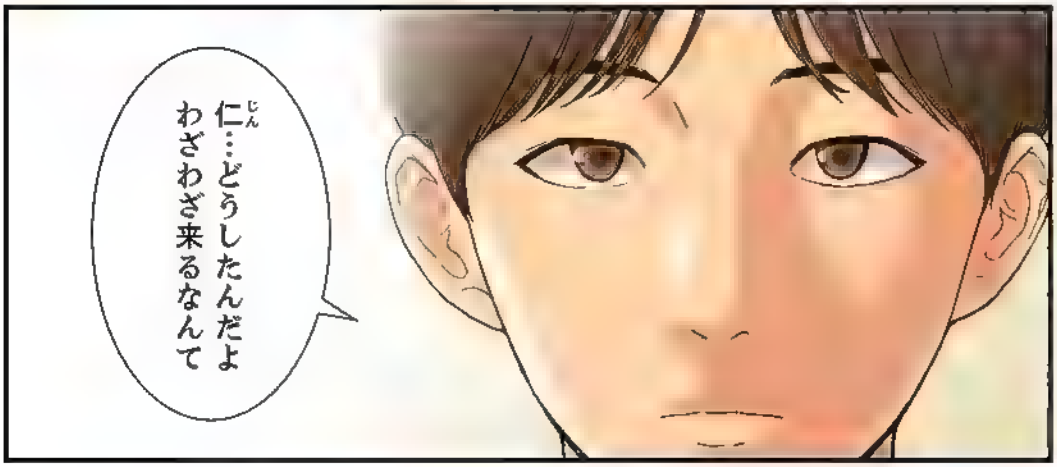
本当に
久しぶりだね


スタ
スタ


プルル
プルル

おーい
こっちこっち！


兄さん


仁…どうしたんだよ
わざわざ来るなんて

え？
お前も？
いつまでもあんな
田舎暮らしはごめんだよ
折角なら都会で優雅に
暮らしたいじゃん？

俺も上京したんだ

優雅にって…
そういえばお前投資で
儲けたとか言ってたな
この車も
買ったのか？
これは
レンタカーだよ
でも買うなら
いい車を買おうと
思ってる

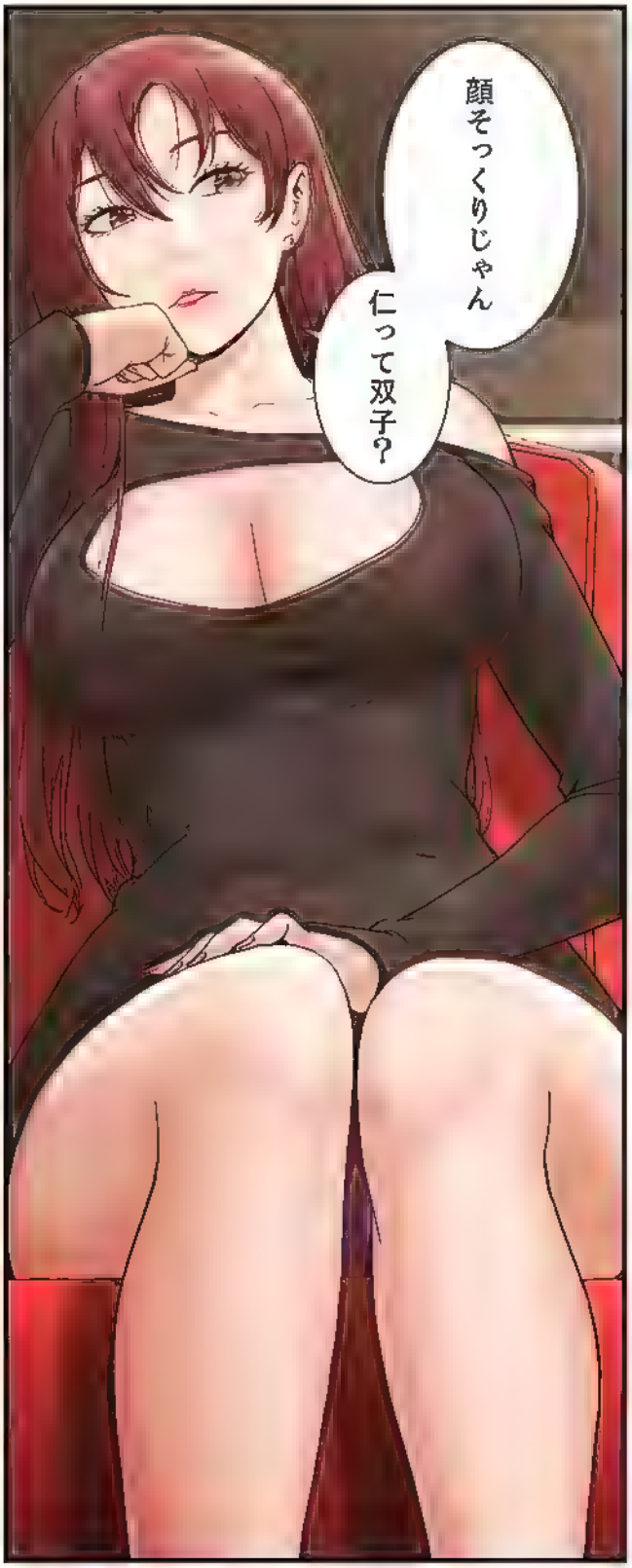
はぁ…
貯金とか
したらどうだ？
は？
貯金？
何言ってるんだよ
人生楽しめる時に
楽しまなきゃ！
金なんて
どうにでもなるし

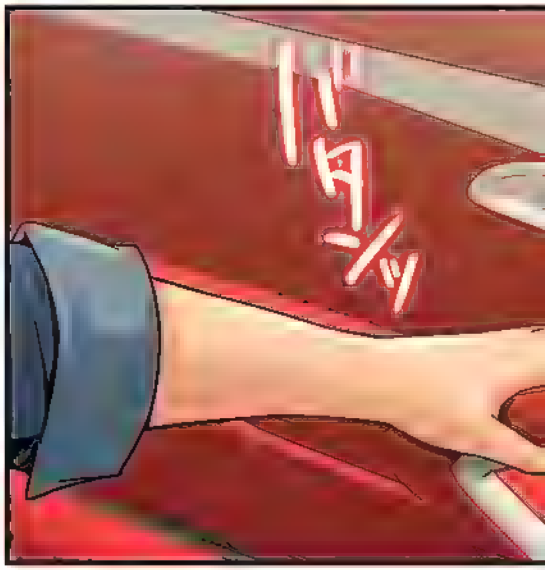
兄さんも
もっと人生
楽しめよ
顔は俺に似て
良いんだし

まぁいいさ
お前の人生は
お前が好きに
すればいい

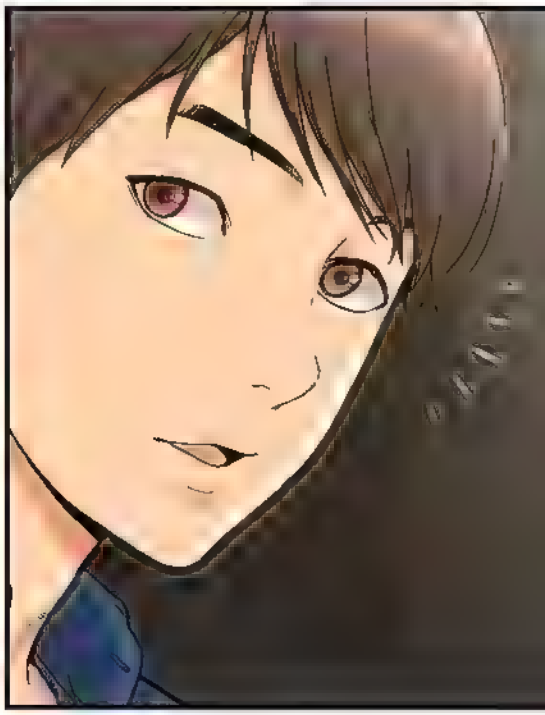
もちろん！
好きにするさ
落ち着いたら
連絡するから
遊びに来てよ

あ…
そうだ！
ん？
兄さんから借りてた
ノートパソコン
返したいんだけど
後で家に
行っていい？
い…家に!?
え？
駄目？
ガチャッ
あ～…
駄目じゃないけど
来る前に必ず
連絡してくれ
了解了解！

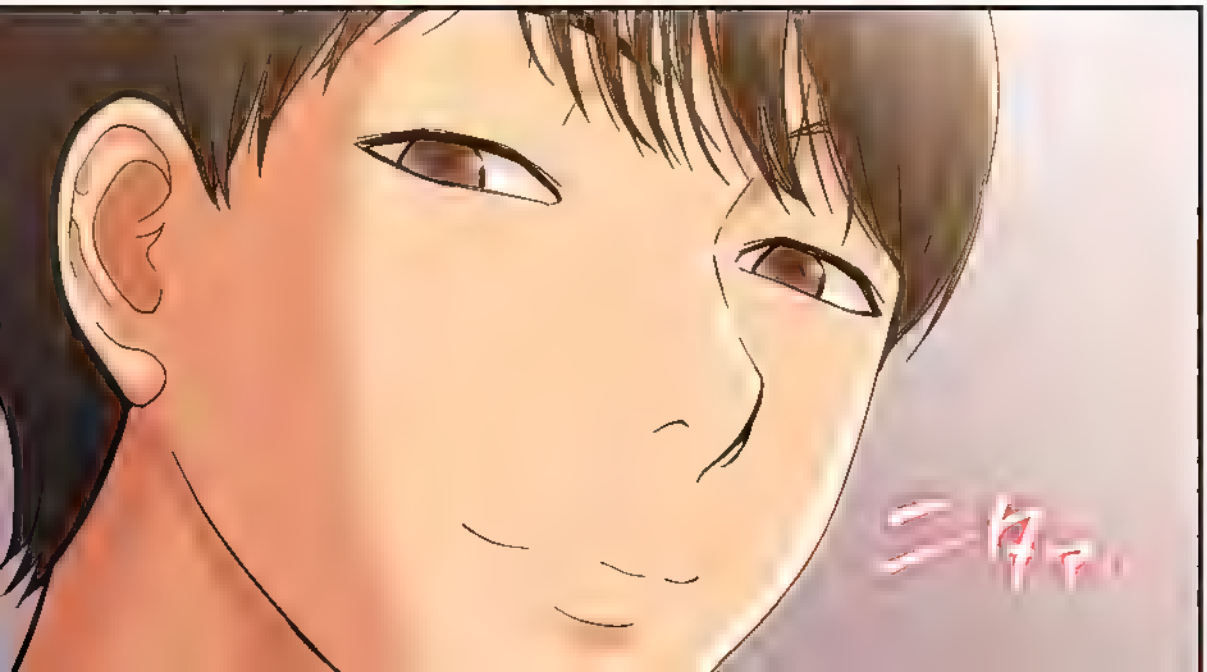

顔そっくりじゃん
仁って双子？


バタンッ

今の誰？



へえ…
そうなんだ…
そう
あれは兄さん
性格は全然
違うけど



どうしたの？
……
実は前から
やってみたかったん
だよな
スッ
!?

車の中で
エッチ
モミ
モミ
んっ…

待って…
ギュッ

そういう事は
彼女としたら?

彼女より樹里の方が
好きなんだよ…
仕方ないだろ？

車の中だし
見えないと思うけど…
樹里の言う通りにするよ

でも…
ここじゃ嫌よ
静かなところに
行こ？

……
ブルン…

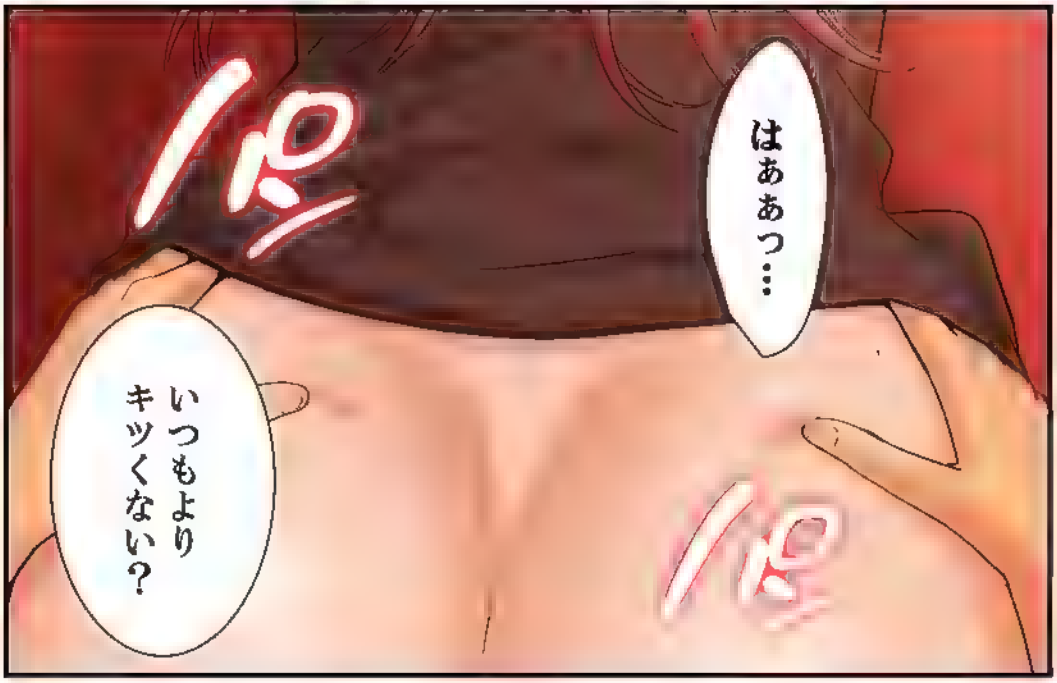
はぁっ…
はぁっ
ギシ
ギシッ
はうっ…
やっぱり…
外でする方が
気持ちいいな
ギシッ
ギシッ

だろ？
樹里…
あんっ！
ど…何処でしても
私は別に…
はうっ…！

ふ～ん？
樹里はコレさえ
挿れれば何処でも
いいの？
グチュ
グチュ
グチュ
あぁっ！

あっ！

後ろ向いて
ふ…う


はぁあっ…
いつもより
キツくない？

もう出そう…！
あっ！
パン
パン
パン
はあっ…
あぁんっ！
ドピュッ

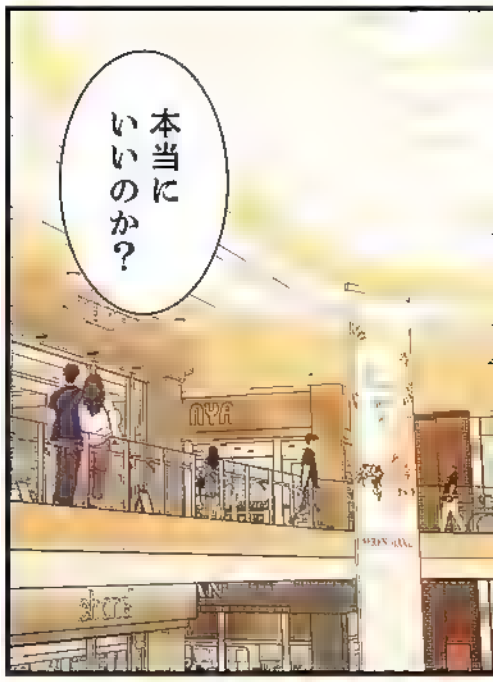
あ～あ…
服に付いちゃったね
ごめんごめん

はぁ
はぁ

じゃあ…

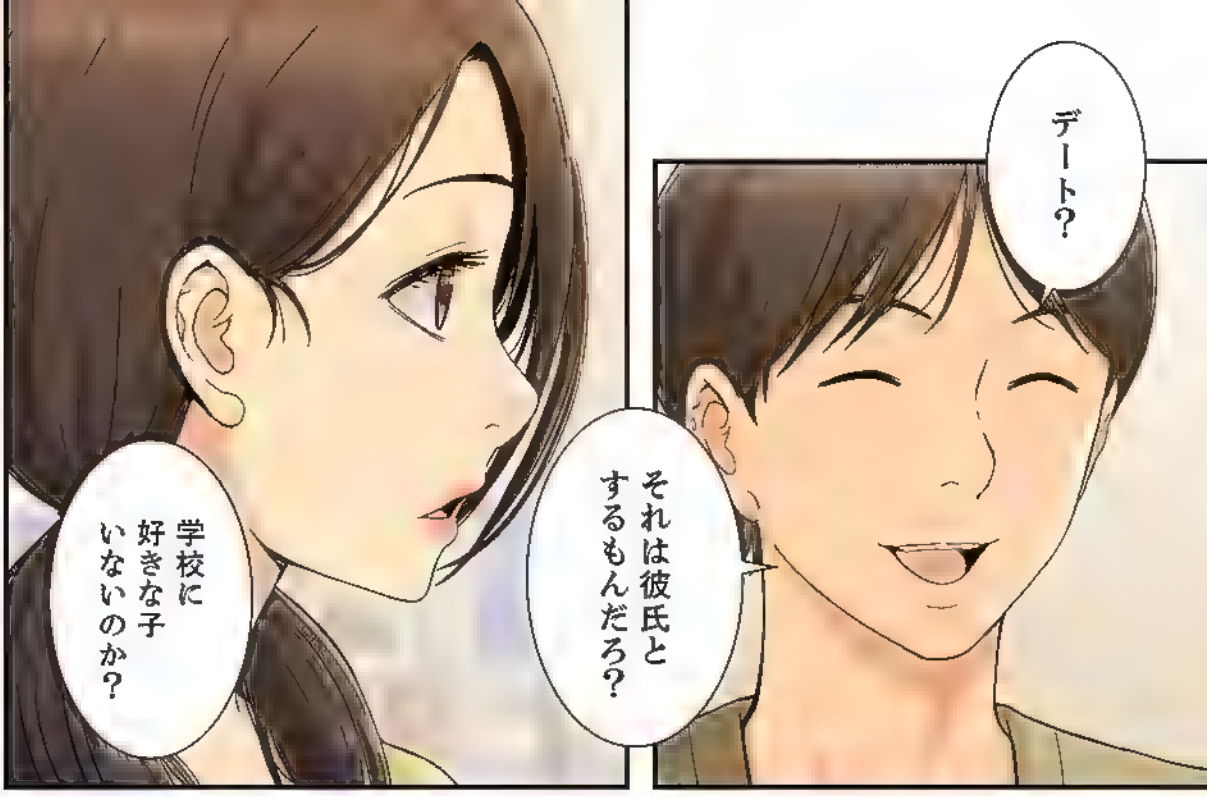
これにします！

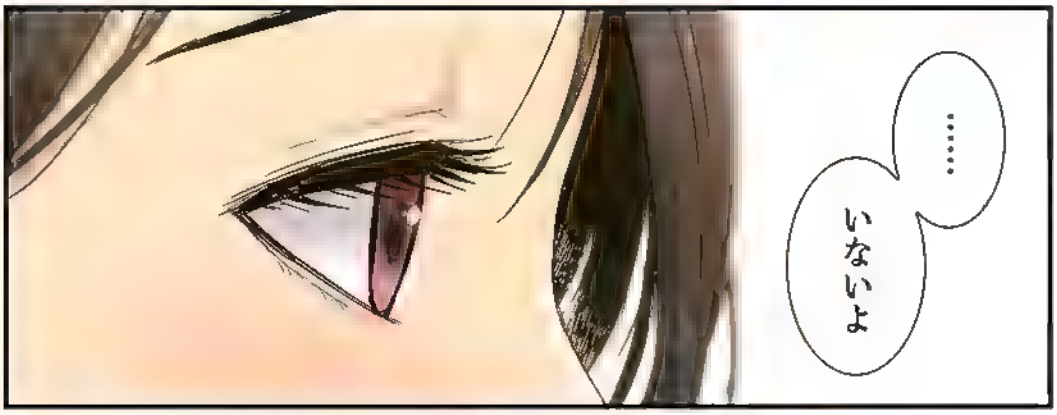
入学祝いなのに
それだけで…
うんいいの


本当に
いいのか？

丁度リップ
欲しかったし！
それにね…

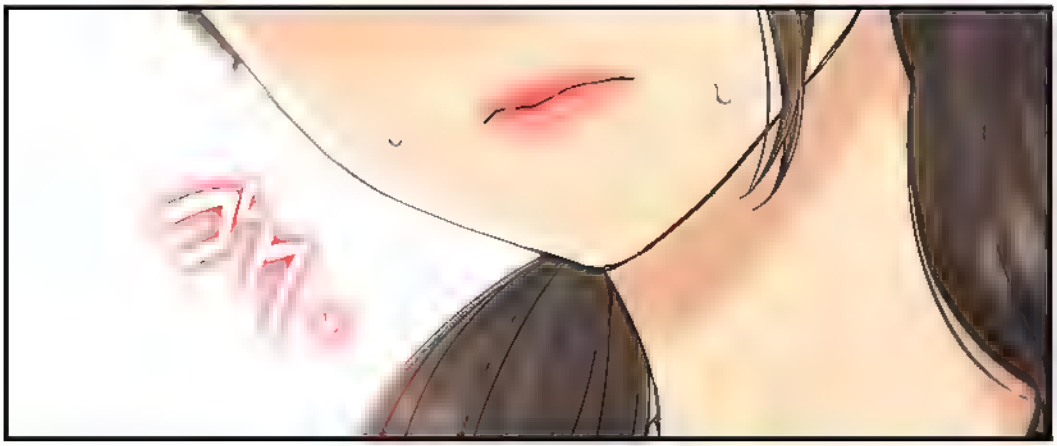
ホー
本当は慎とデートがしたかっただけなの


デート？
それは彼氏とするもんだろ？
学校に好きな子いないのか？


……
いないよ

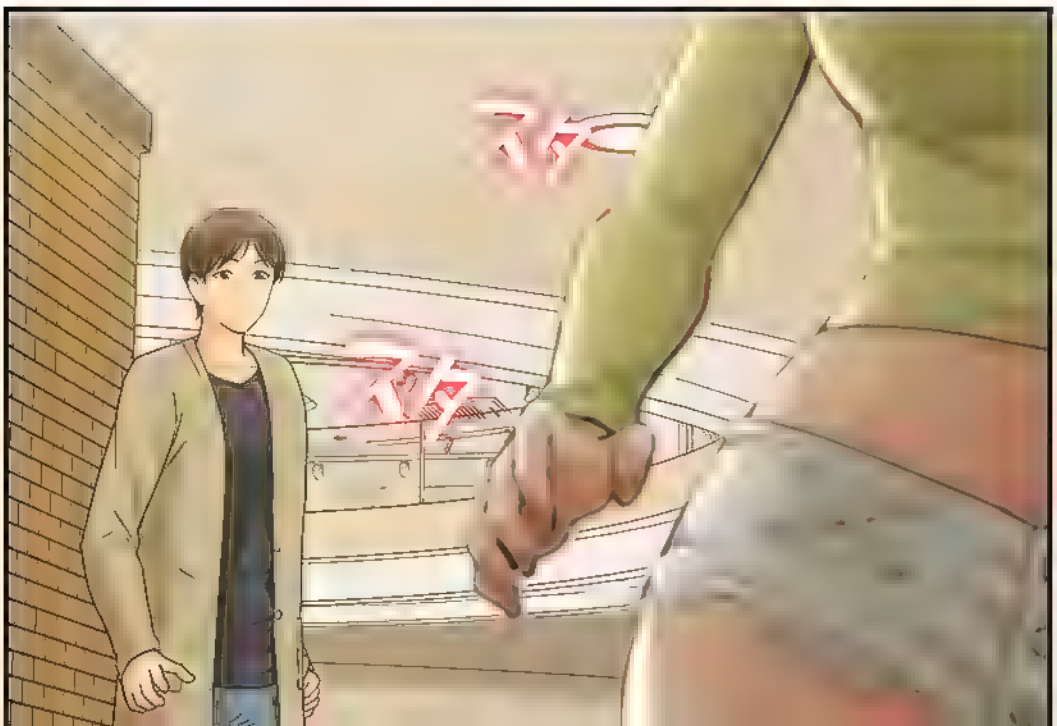
子供には
興味ないから

だって…
私は…

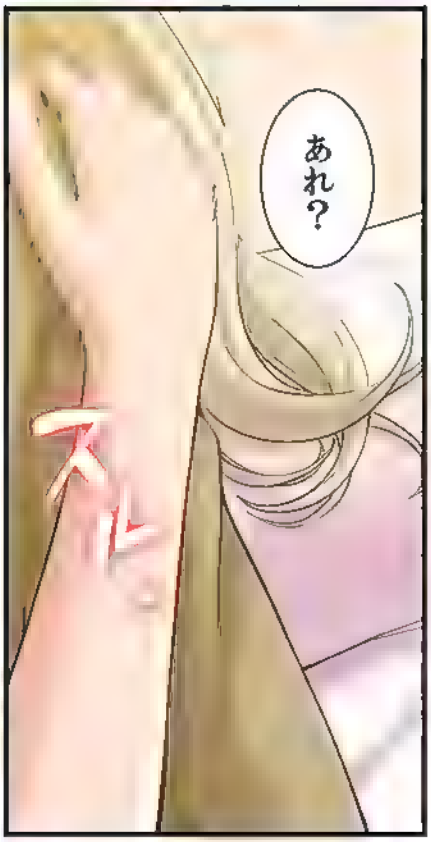


あ…

ちょっと
トイレ行ってくる！



さっきまで機嫌良かったのに
どうしたんだ？
はぁ…分からない
！

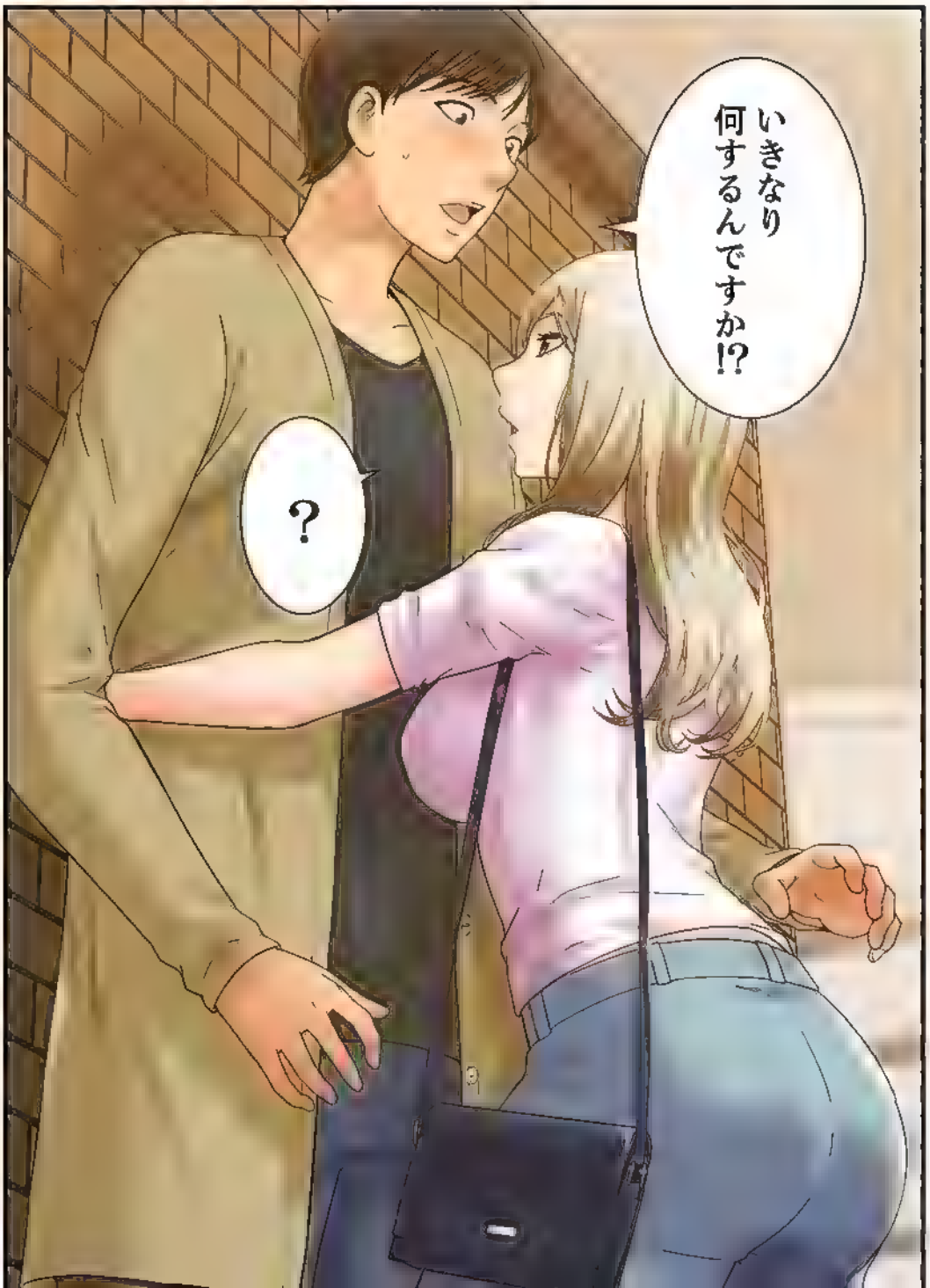

あれ？
スル

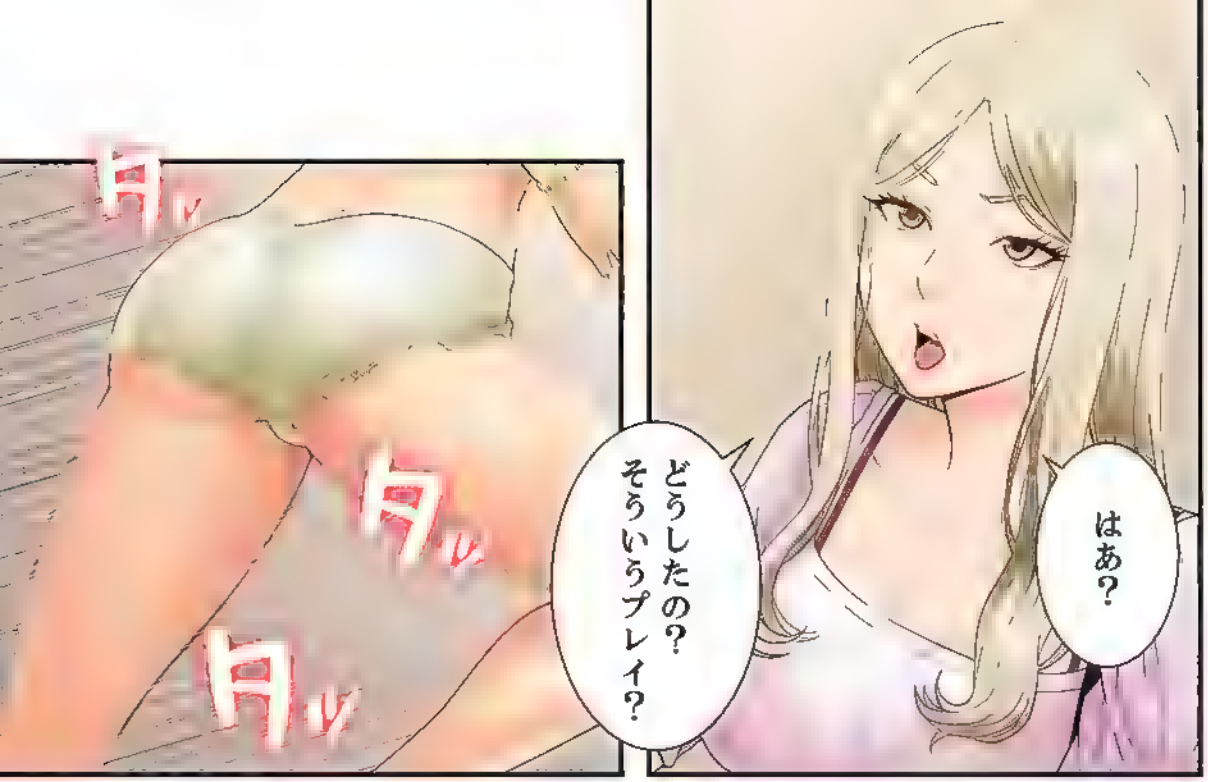
ねぇ
何してるの？
？

え？
あの…
どちら様？
スー
どうして
さっき電話に
出なかったの？
もしかして…
他の女と
デートでもしてた？

慎…？

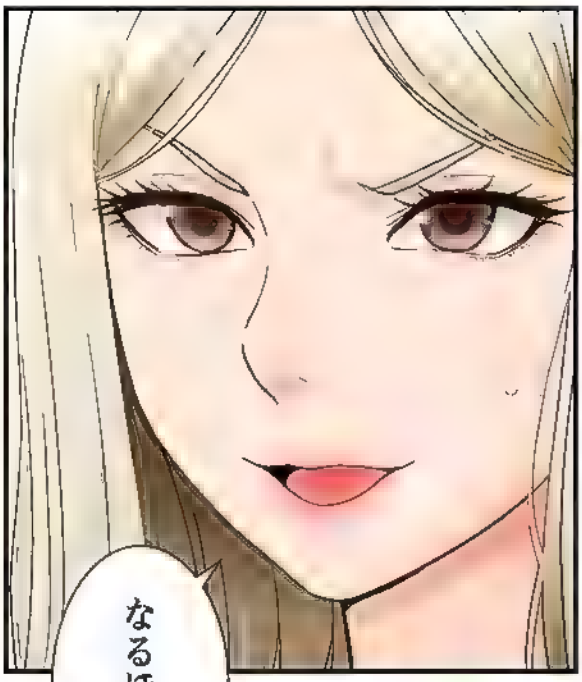
ちょ…ちょっと！


いきなり
何するんですか!?
？


はあ？
どうしたの？
そういうプレイ？

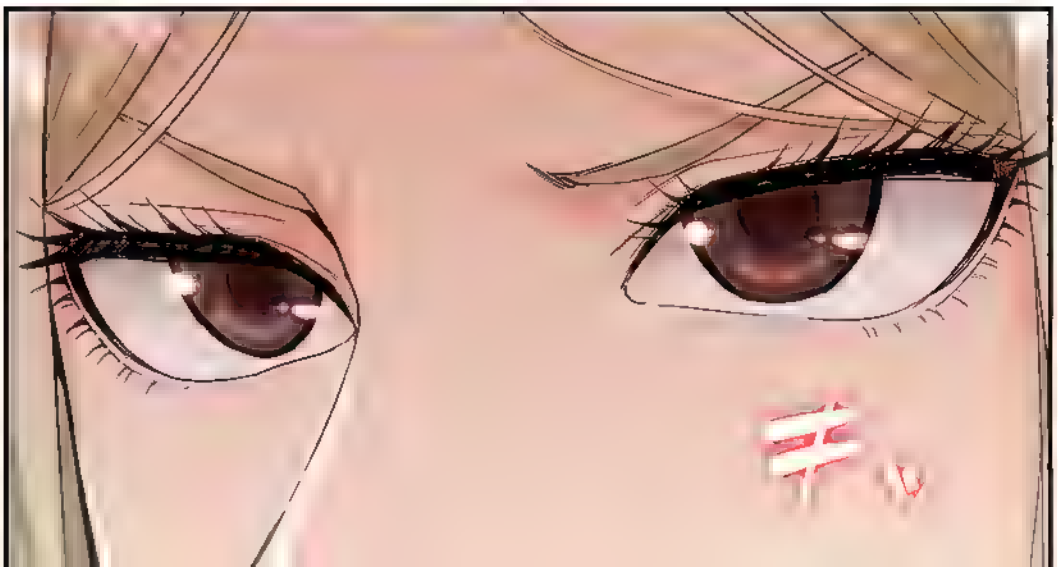
！

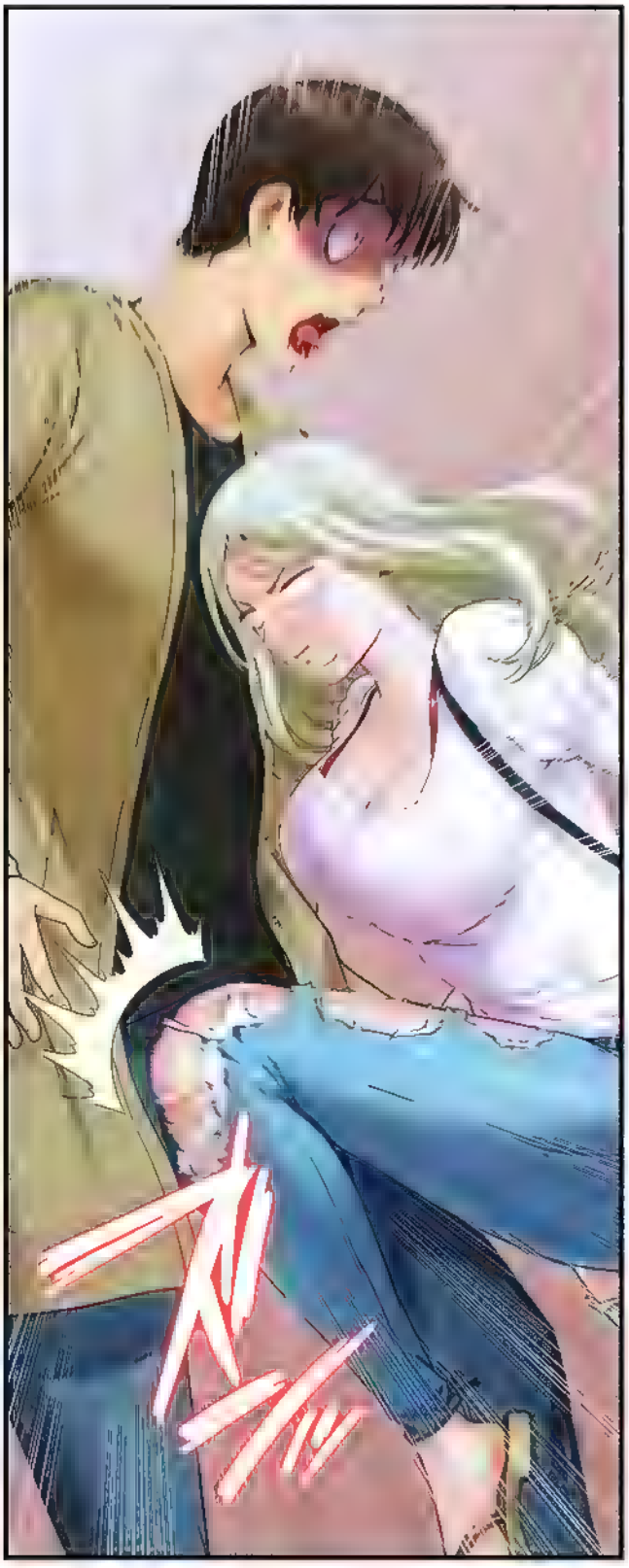
何か用ですか!?


なるほど…

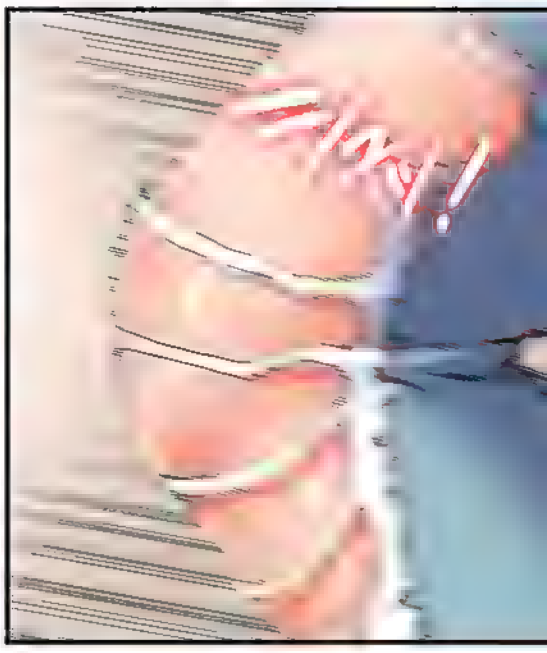
そういう事ね?

そりゃ知らないフリするわよね
分かったわ





それなら…！
え…？



慎!?
死ね!
クズ野郎!

グエッ

慎!
しっかりして…!
たこ
立てない
慎~!!

うっ…痛！

翌日

昨日の女…

俺を殺す気で蹴ったな？

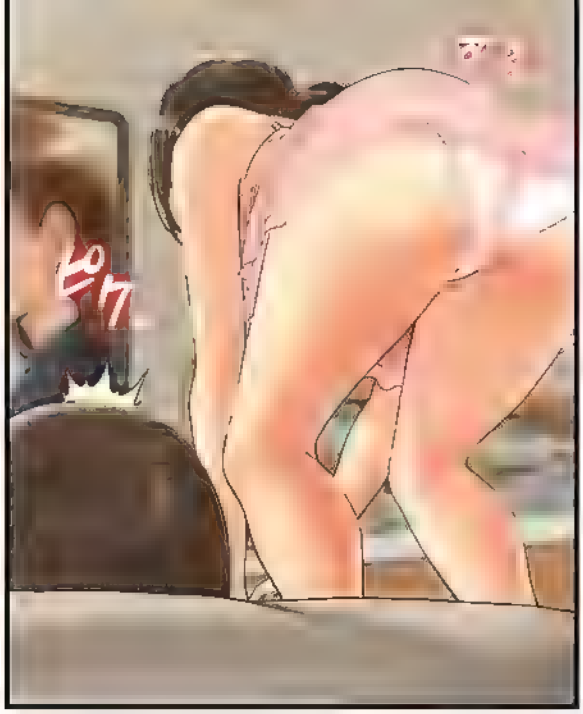
ボキ

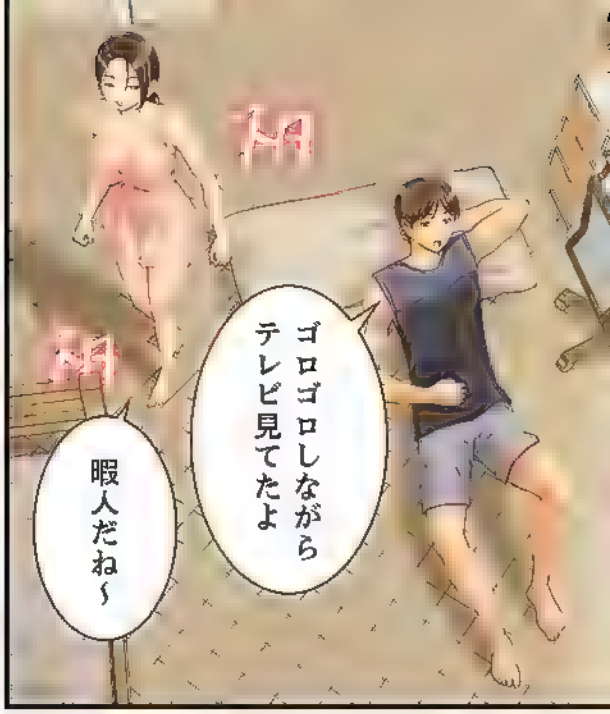
慎～！いる？

！

コンコン

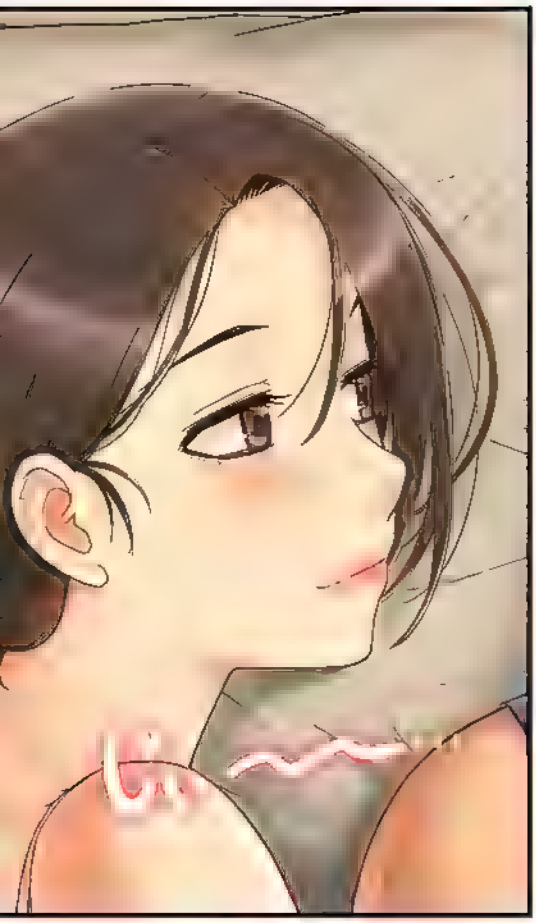
ガチャ
何してるの？
入っていい？


ピク


ゴロゴロしながらテレビ見てたよ
暇人だね～

わ～い！
ボヨヨ

あの俳優って
アホっぽいよね



映画観てたの？
面白い？
まあ…普通かな

そういえば大丈夫？
昨日蹴られたとこ…
あ～…
大丈夫
私が慰めて
あげよっか？
子供のくせに
変な事言うな

ねぇ慎…
ちぇっ…

あの女の人
彼女…
じゃないよね？

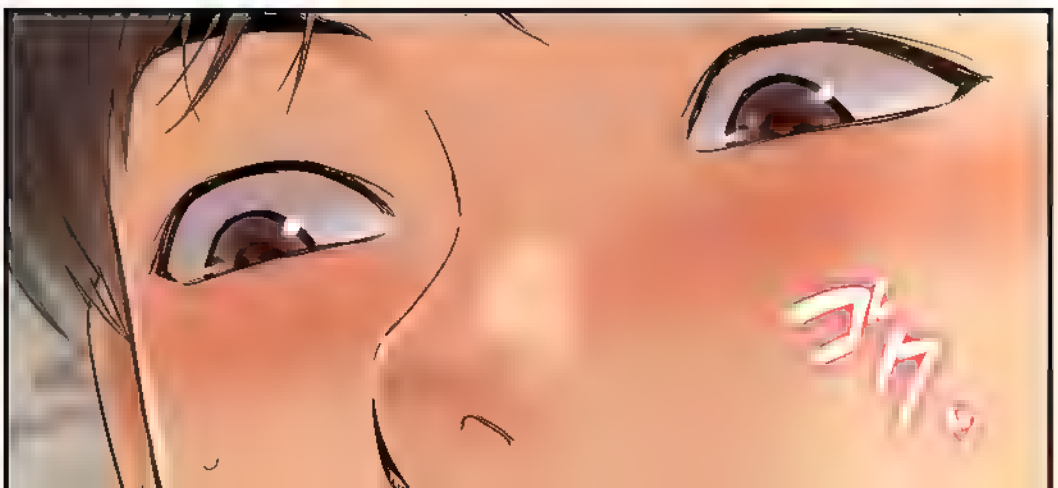
彼女だったら
紹介してるよ
それに今は
誰かと付き合う気は
ないから…

…うん

分かった！
信じる！
ギュウ…

暑苦しいだろ？
むにっ
暑い？
全然じゃん
私は…

もっと…
熱くなっても
いいよ？


ゴクッ

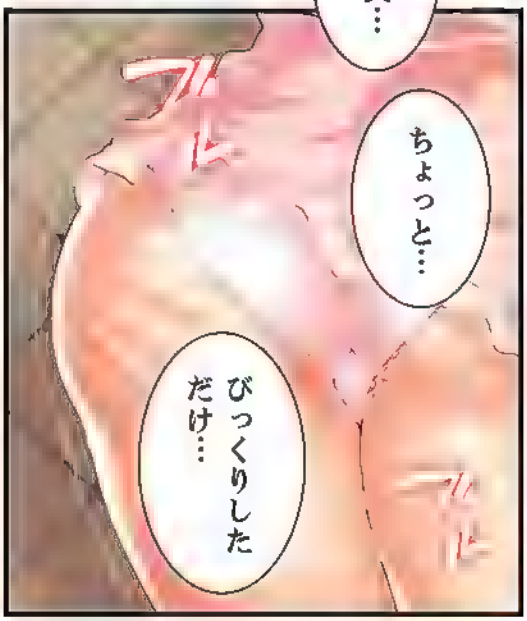
きゃっ!?

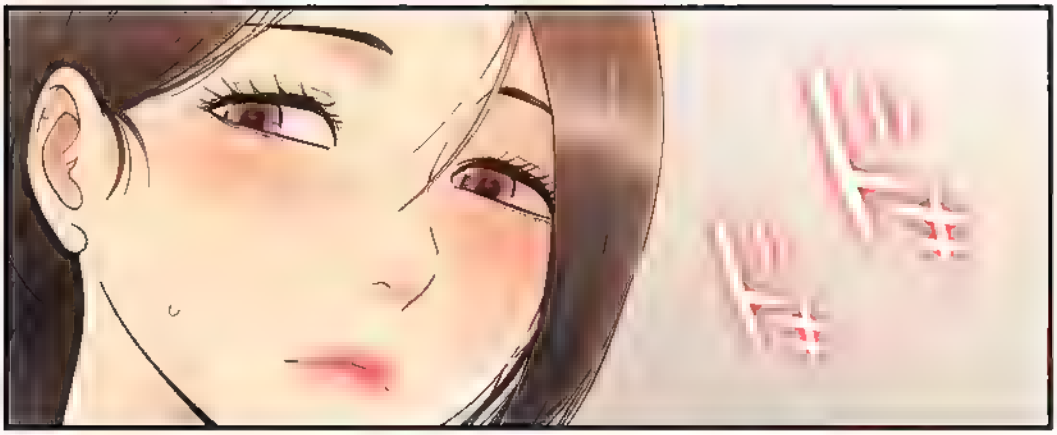
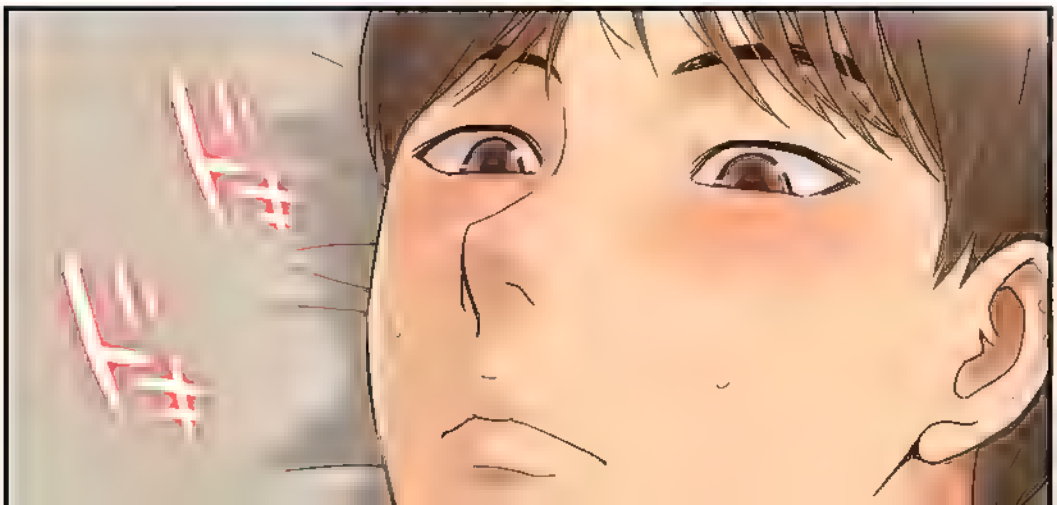
変な事言うと
お仕置きするぞ？
も～！
何よ…
私もう子供
じゃないんだから

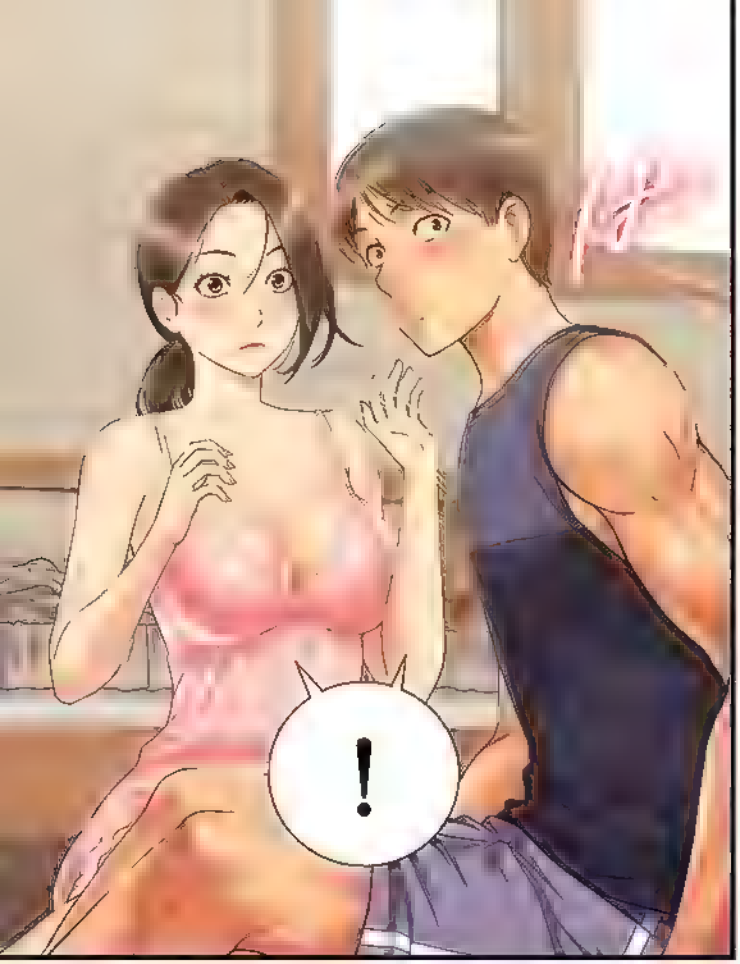
それにそこは
お尻じゃないよ
お尻は
もう少し上…
ごめんごめん

この辺？
もっと上？
ビク
んっ…
慎ってば
そんなに
叩きたいの？

あんっ！
！

だ…
大丈夫…

ちょっと…
びっくりしただけ…

ご…ごめん
痛かったか？




！

ヴィ～～ン…
ヴィ～～ン…

ビックリした…
電話だ…
ヴィ～～ン…

誰かな…
ヴィ～～ン…

ガ～～～ン…
!!
……
もしもし
久しぶりだね
慎…

……
まだ怒ってるの？

……
どうして
連絡して
きたんだ？

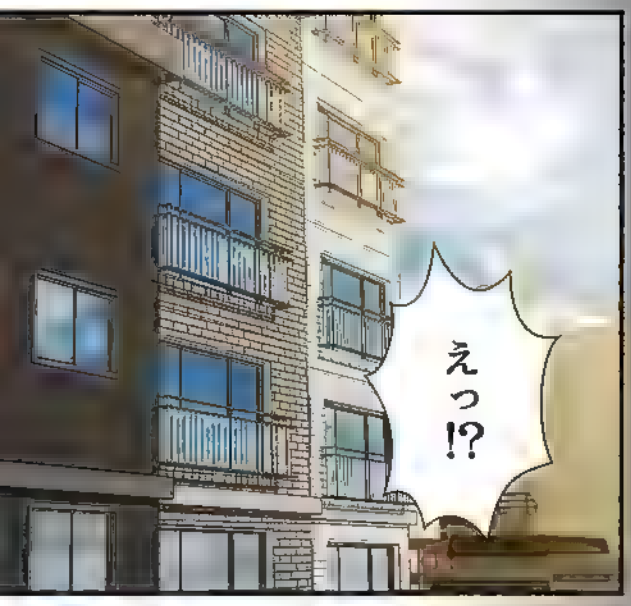
そんな事言わなくても
分かるだろ？

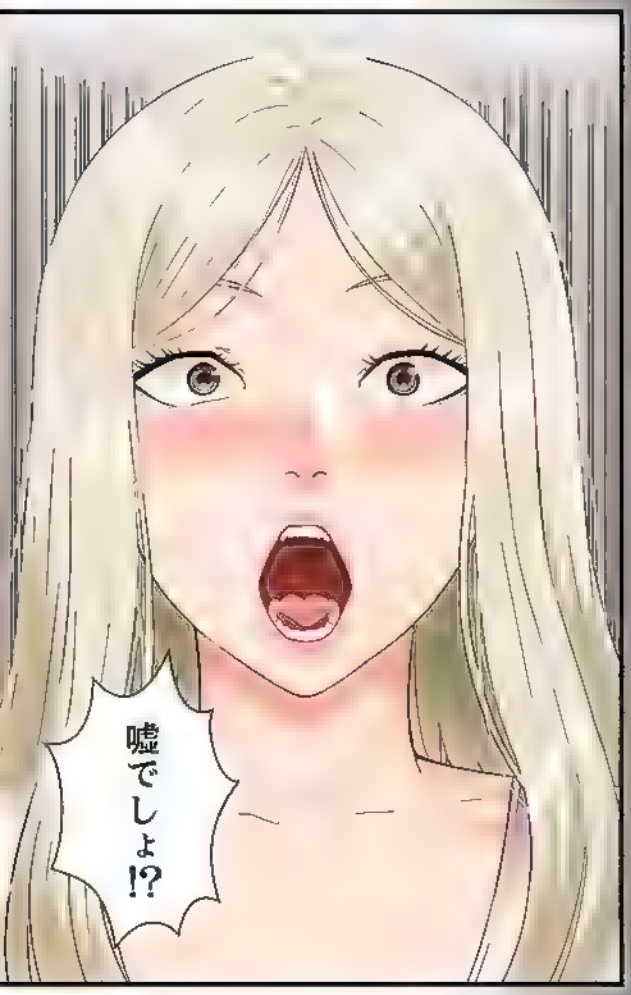
誰だろう…？
凄く真剣な顔…

誰？

…分かった
切るぞ

……
莉奈は知らなくていい相手だよ


えっ!?

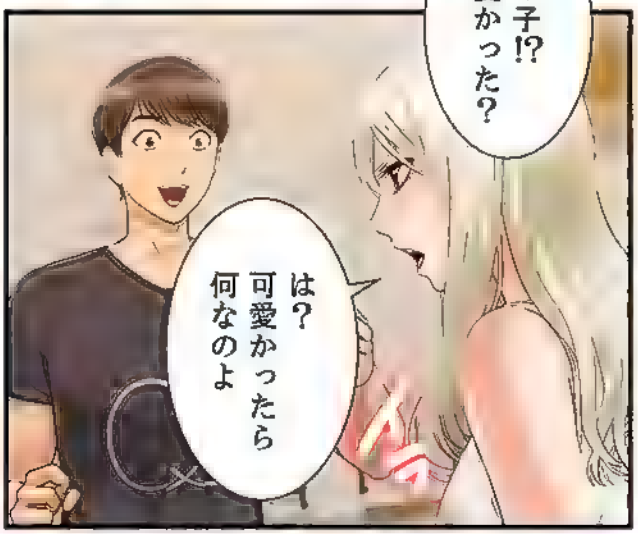

嘘でしょ!?

会う事もないだろうから…

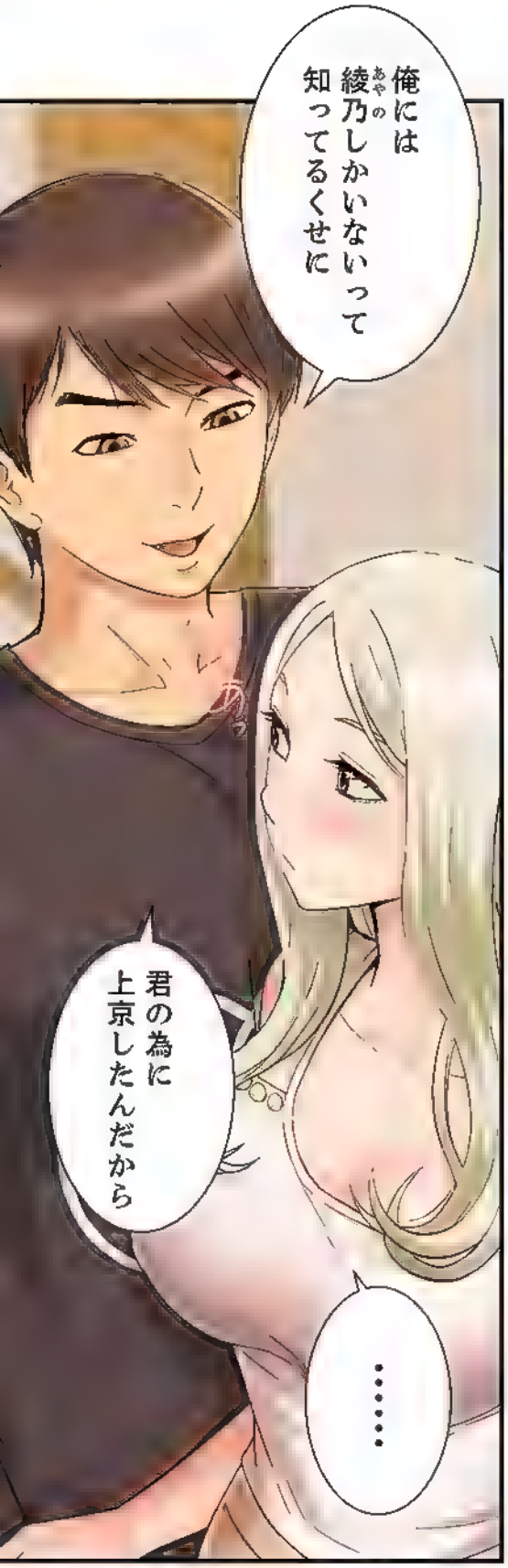
言ってなかった？
双子の兄がいるって
初耳よ！
本当なの？
本当だよ
ほら兄さんと
一緒に撮った写真
そっくり…

じゃあ私…
人違いであんな事
しちゃったの？
兄さんに
何したのさ…

知らない女といたから
ちょっと殴っちゃって…
仁だと
思ったの！


女の子!?
可愛かった？
は？
可愛かったら
何なのよ

いや…
兄さんの新しい
彼女が可愛いのか
気になっただけだよ

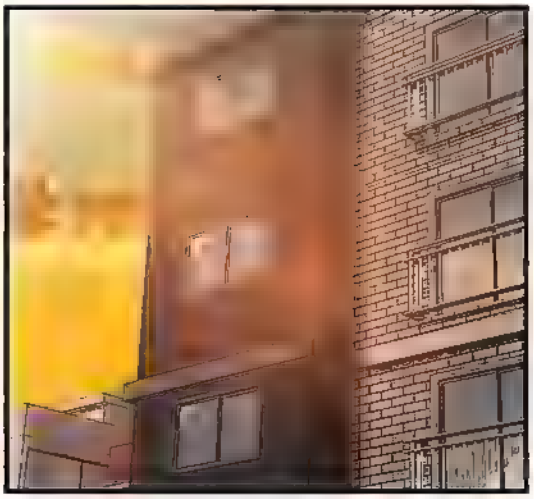

俺には
綾乃しかいないって
知ってるくせに
君の為に
上京したんだから
……

ドサッ

あっ！
オッパイ

さてと…

俺がどれだけ
綾乃を愛してるか
教えてあげる



あっ…

そんなに引っ張ったら…！
あっ痛い…
嫌がられるともっとやりたくなっちゃうんだよな
んっ…

本当は気持ちいいのに嫌って言ってるんだろ？
あっ…違…

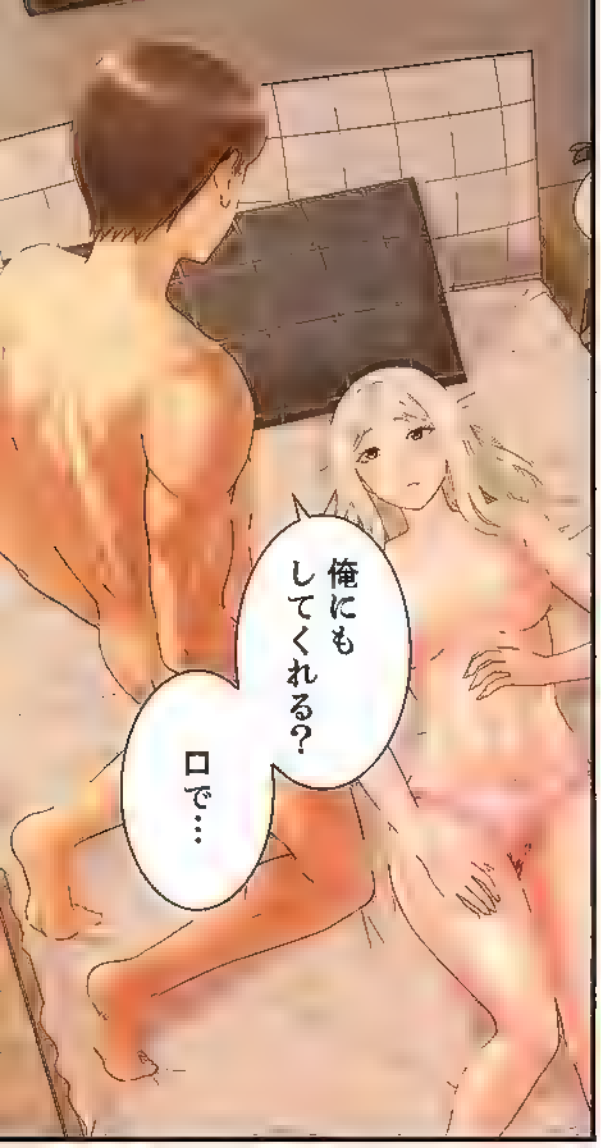
もうちょっと私の事考えてよ…
ん？何だよお楽しみはこれからだろ？
あうっ！

駄目…！
染みになっちゃう！

はぁんっ！
あっ！あぁっ！

待って…！
や…あぁっ！

はぁ…っ


俺にも
してくれる？
口で…

ほら

私…そういうの
嫌だって
言ったでしょ？
忘れちゃった？

どうしても嫌？
残念…

一回くらい
いいじゃん
酷いなぁ
……

ワレイリ
きゃっ!?

ズプッ
あぁぁっ！

綾乃は口より
こっちに挿れるのが
好きなんだな

はうっ！

あっ…

挿れただけで
泣くし…

あぁんっ！

はうっ

それじゃ

はうっ

あぁっ！

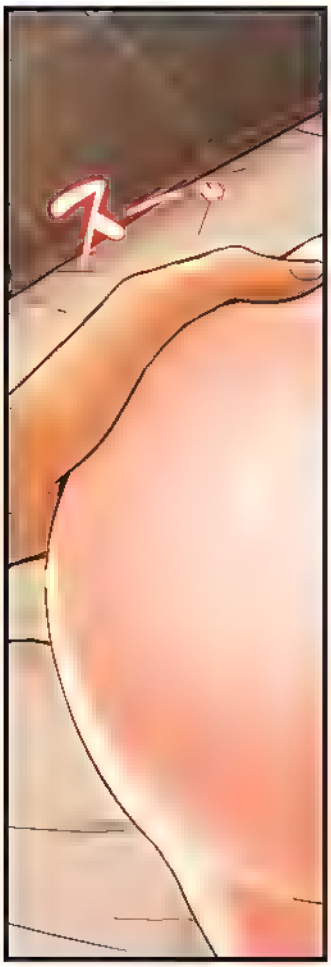
次から挿れるのは
おあずけにしようか？

当然だろ？
俺は色々したいのに…

違うのに…！
もう…何で
そんな事
言うのよ

いつも
嫌だ嫌だって
はぁん！
あぁっ…！

あっ！
あんっ！
パン
パン
はぁ…


スー

後ろ向いて
え？
うん…

ひやあっ!!
ズボッ
やっぱり
バックの方が
やりやすいな
はうっ
はぁん
綾乃のお尻も
じっくり
見れるし
あっ!
あぁっ!

はぁん

あんっ！

気持ち…いい…！

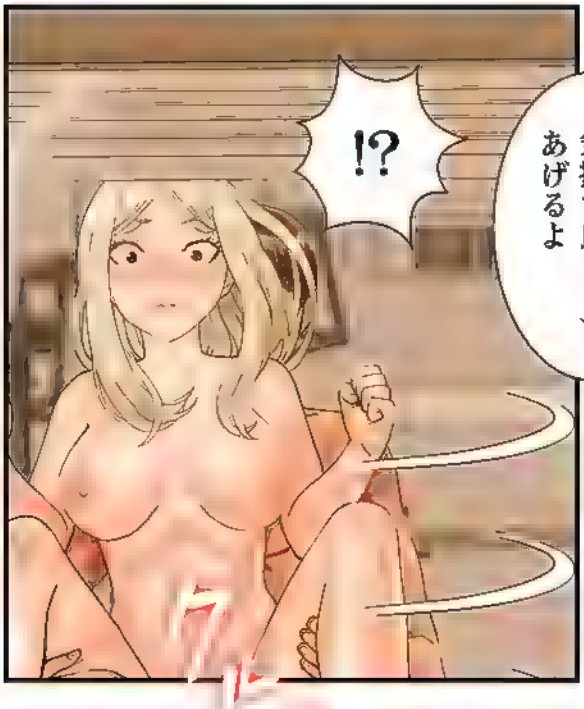
それじゃ…

？

そんなに気持ちいい？

うん…良い…！

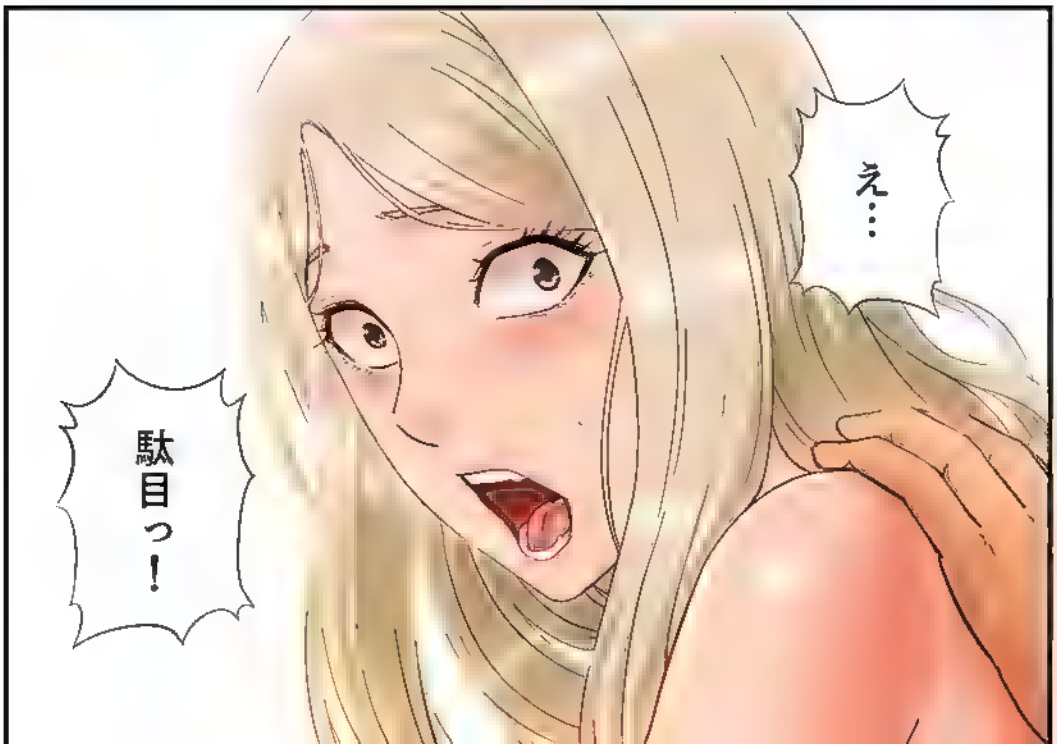
ほら…！
きゃあっ!?
あっ


!?

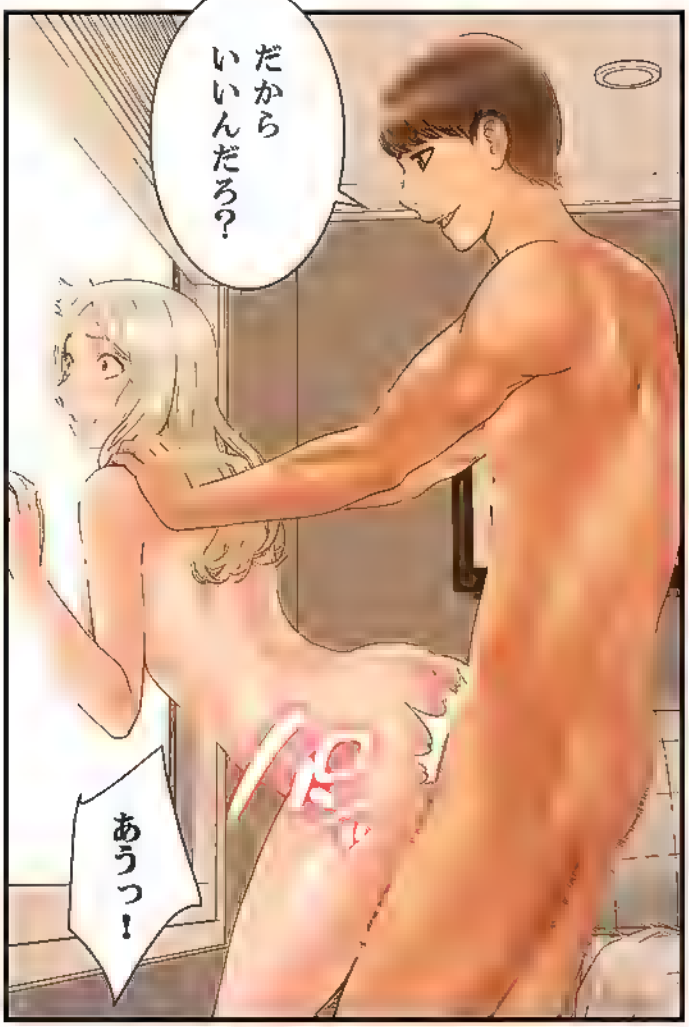
もっと
気持ち良くして
あげるよ

待って！
何するの!?
何って…
楽しい事だよ
ひやぁっ！

このまま
やろうか

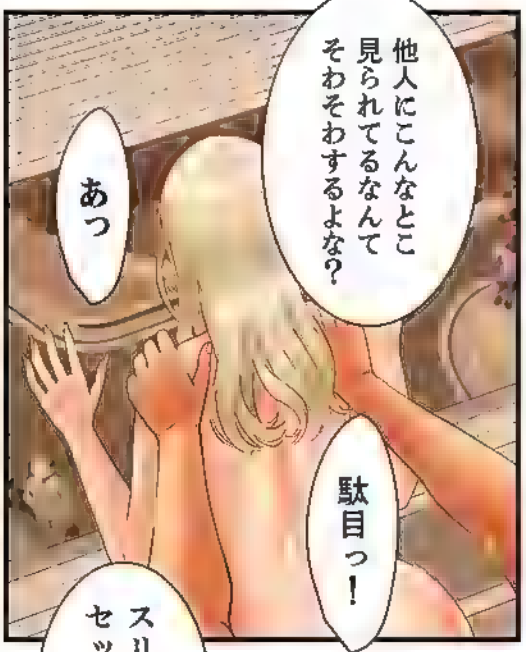

え…
駄目っ！

下に人がいるのに…！

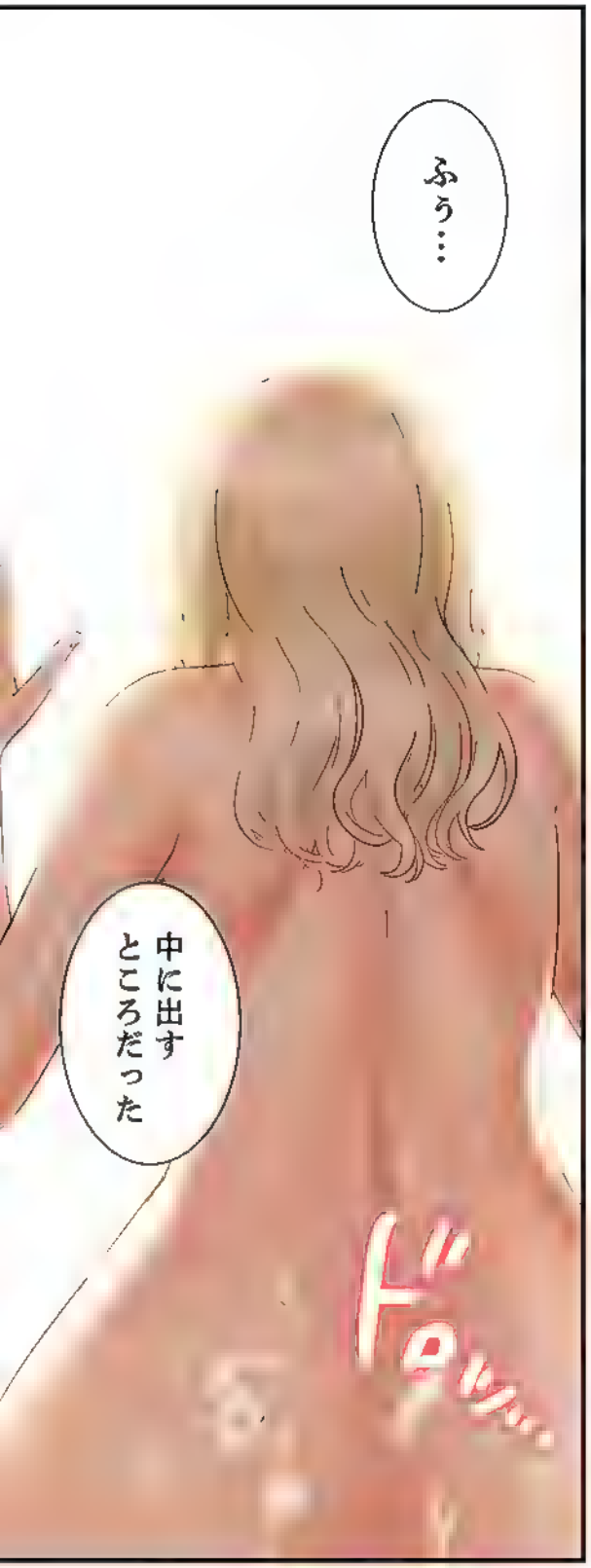

だから
いいんだろ？
あうっ！

止めっ…！
止めて…！

興奮するだろ？
あぁっ！
はぁん！
みんなに
見られてさ…


他人にこんなとこ
見られてるなんて
そわそわするよな？
あっ
駄目っ！

スリルのある
セックス
あっ
はあっ
いつもより
良いでしょ？


ふう…
中に出すところだった

俺も興奮して…
すぐ出そうだ…！
はあっ
うっ…イキそう…
あぁぁん

イクッ！

はぁ
ドサッ

はぁ…
すっごく
良かったな！

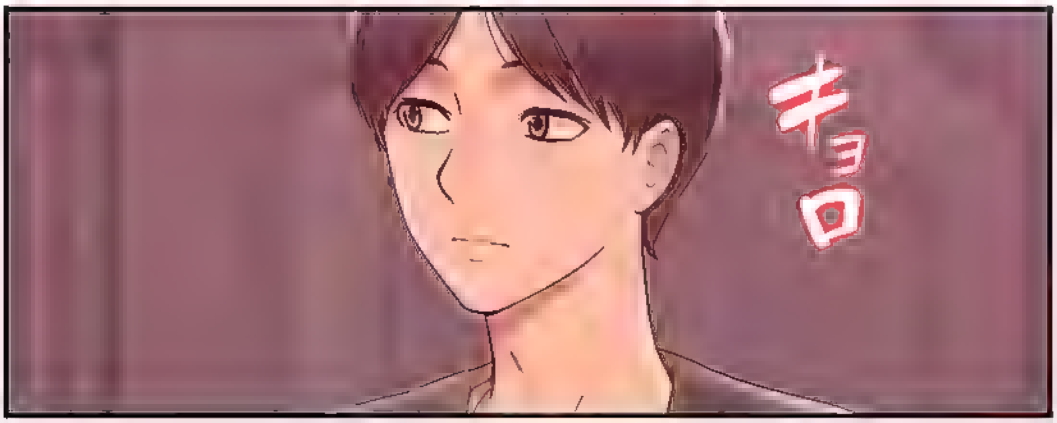
綾乃も最高だったろ？
次もまたこれで
やってみる？
ガシッ！
この馬鹿！
ばん
うっ!?
痛てて…

ふぅ…
疲れた…

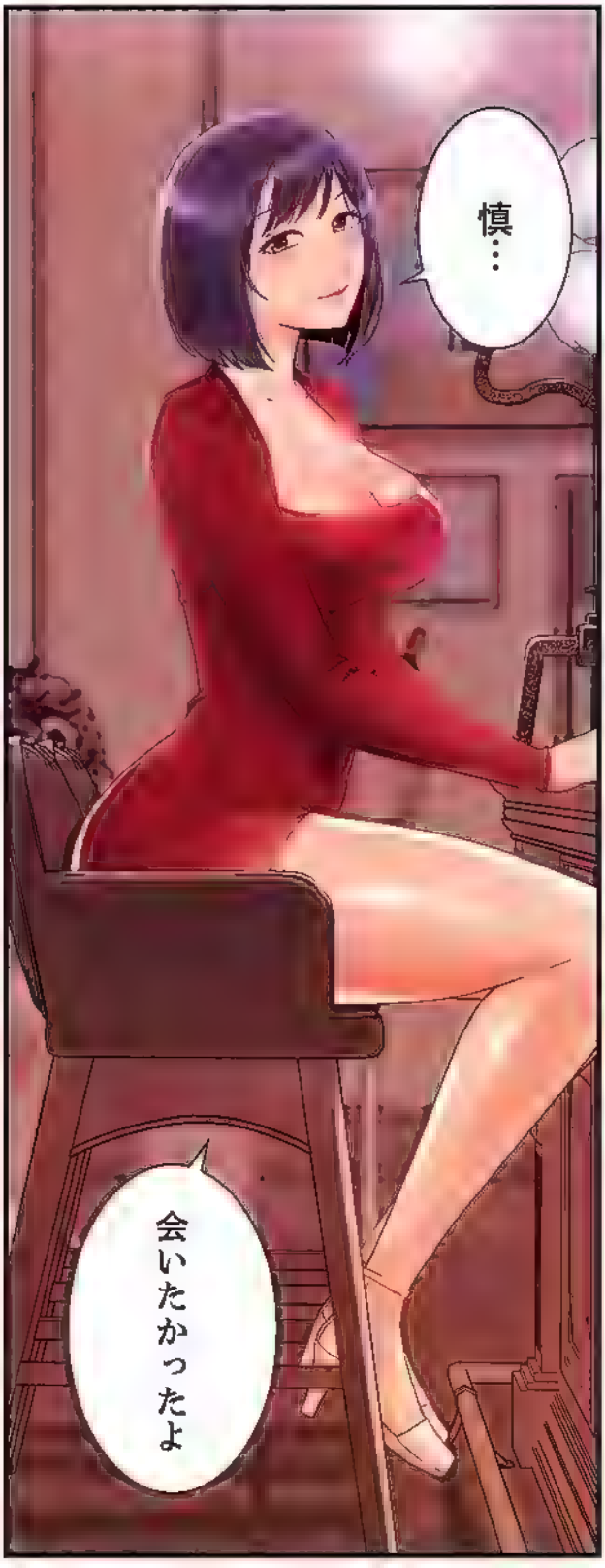
バタン!!
気持ち良かった
くせに照れちゃって

もう夕方か…

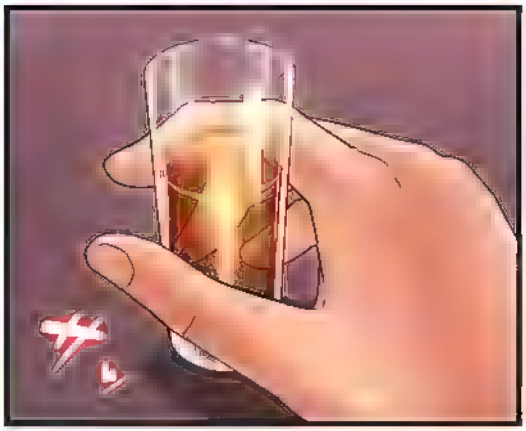
MONICA BAR
MONICA
BAR


キョロ

慎！


慎…
会いたかったよ

久しぶりだね
トン



会いたかった？

よくそんな事言えるな…
香奈美
今更何で呼び出した？

言ったでしょ？
あなたに会いたくなったの

自慢の彼氏は？
どうして俺なんかに
会いたくなったんだよ
あの人とは
別れたの
あの人は会社も
辞めたし…
もう会わないわ

……
だから？
そいつと別れたから
俺とまた
付き合おうとでも？

そういう
つもりなら
俺は帰るよ
ガタ

それでいいの？

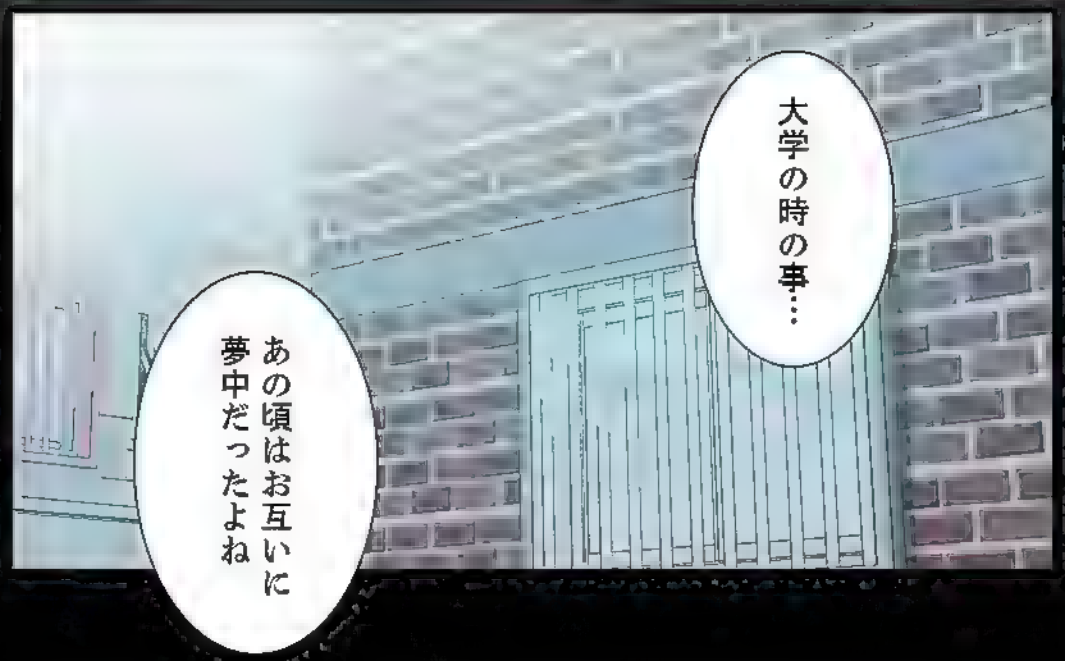
久しぶりに
会えたのに…
これで終わりなんて
冷たいじゃない

分かった

少しくらい
話さない？
……

話くらいは聞くよ
ガタ

……
覚えてる？


大学の時の事…
あの頃はお互いに夢中だったよね

あっ！
はぁ

まだ…課題
終わってないよ？
あっ！
早く…やらなきゃ

あっ
優しく……！
何度も求めあって
はうっ
あっ
夏には
汗だくになって

はぁ…
はぁ…

どんなに暑くても
ずっとくっついて
離れなかった
は…あっ

そう…

……
ゴクン

だけど大学を卒業してすぐ香奈美は他の男と付き合った
スッ

……
それは…

他に好きな男が出来たから別れたいって言ってきたのはそっちだろ?

あの時は私が…
もういい

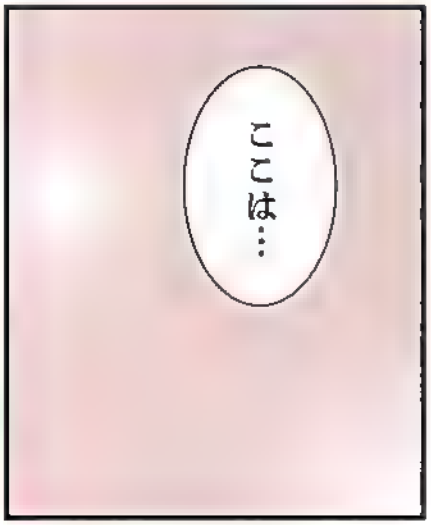
ダンッ!

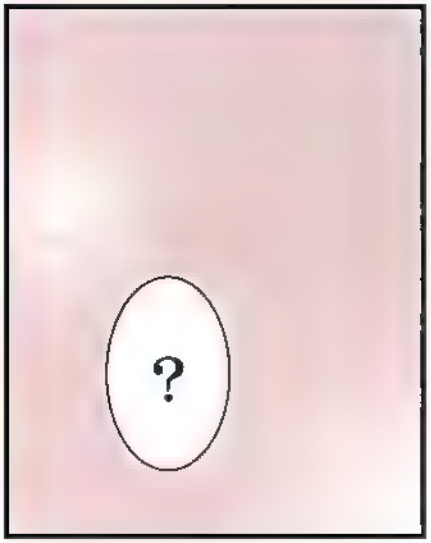
今日で
終わりだ

もう二度と
会うつもりはない

う…っ

！
ヒク、


ここは…


？

相変わらず
お酒は弱いね

あ！起きた？
スッ

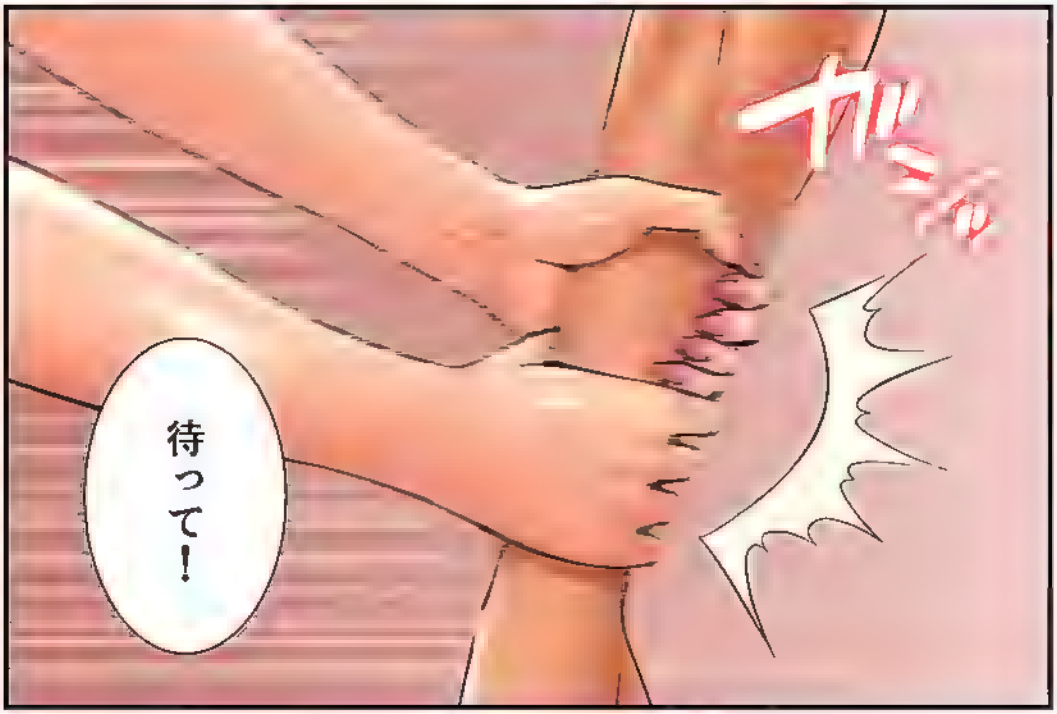
あれ…？
酔い潰れたのか？
うん
家まで運ぶの
大変だったよ

おかげで汗かいたから
シャワー浴びたとこ

服…着ろって
別にいいじゃない
お互い何度も
見たんだし

どうしたの？
久しぶりに見たら
興奮しちゃった？

馬鹿な事
言うなよ！
もう帰る
ガタ


ガシッ
待って！

今日…
泊まってかない？
本当に
久しぶりなのに
このまま
さよならは嫌
電話で
会いたいって
言った時…
罵られても
仕方ないって
思ってた

もしかして
やり直せるかも
って思ったの！
少しはまだ
私の事を想って
くれてるかもって…

でも慎は…
私に会いに来てくれた
だから

それは…
確かに

香奈美の言う通り
なのかもしれない
香奈美の事をまだ
完全には許せないけど
会いたい気持ちが
あったのは確かだ
でも…

俺は帰るよ

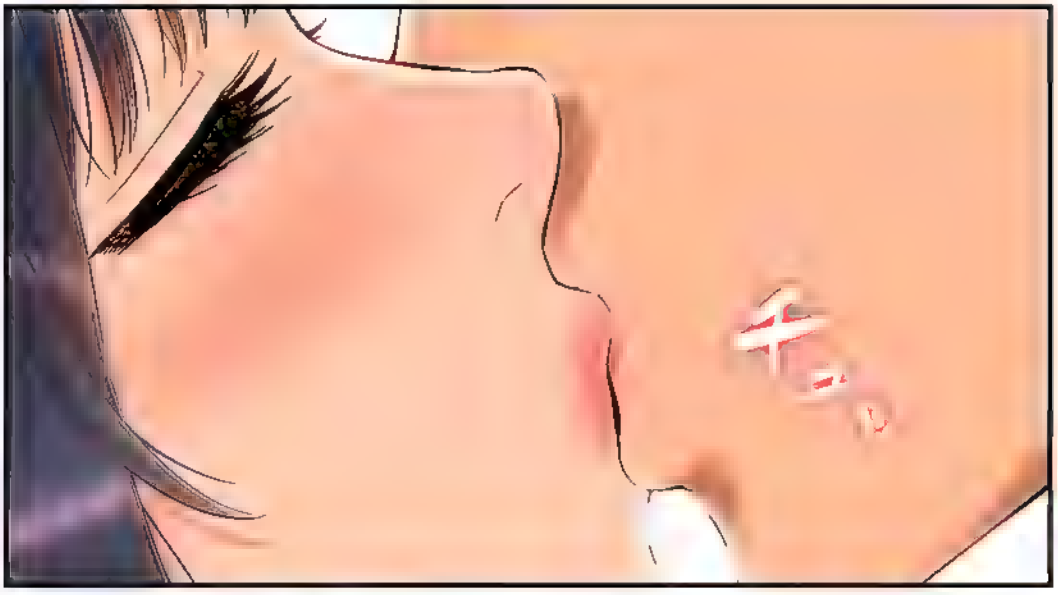
もう遅い時間だし

慎…

ギュ
行かないで！

今日だけでいいから
抱いて…

お願い…

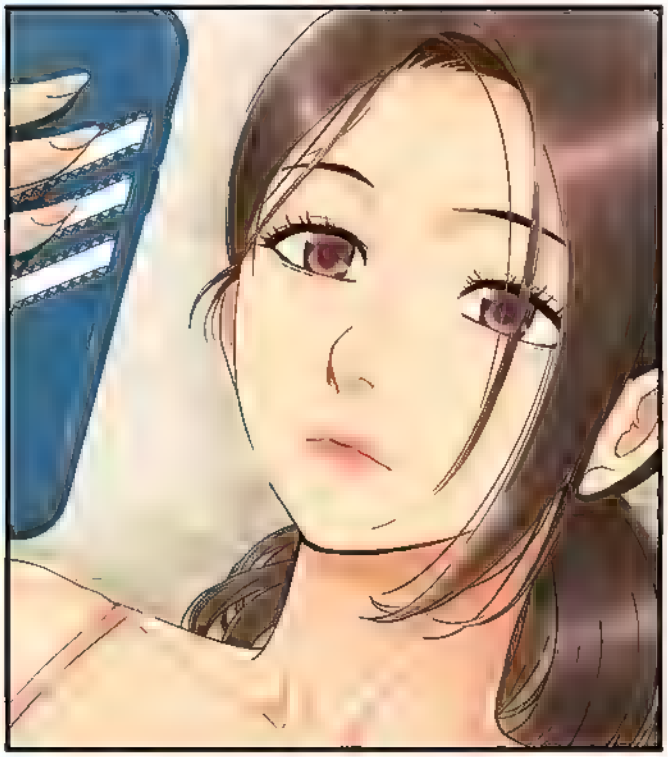


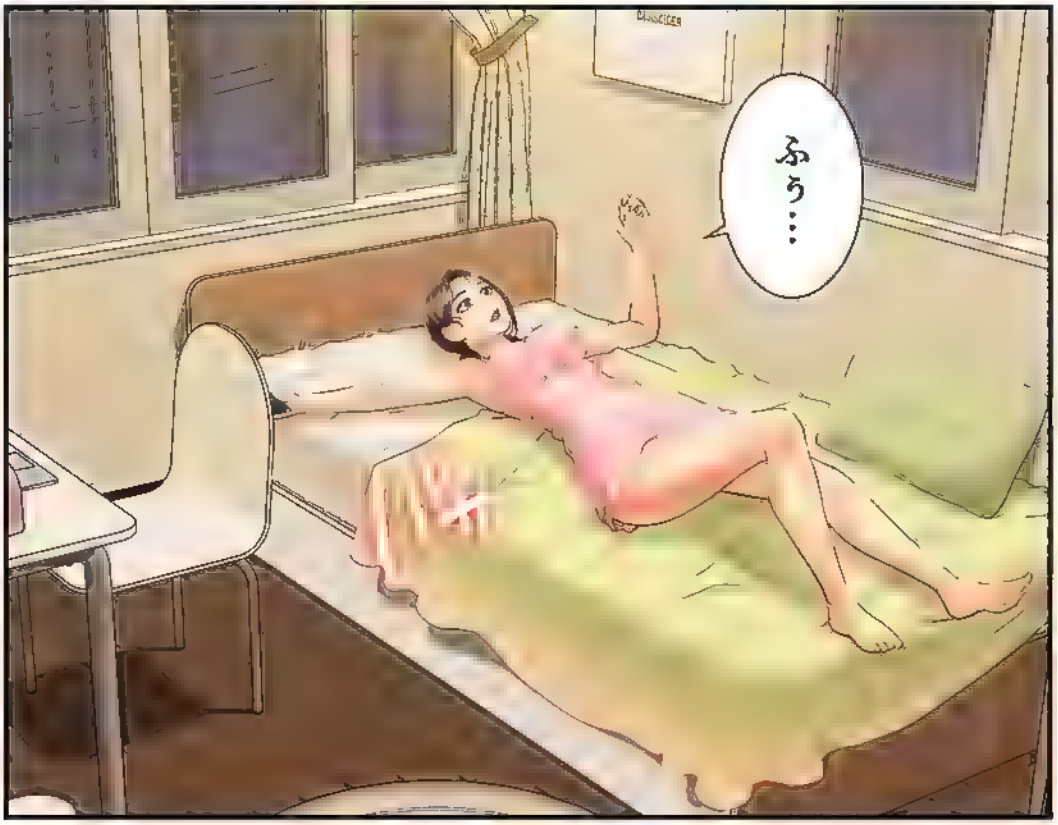
んっ…

酔ってるのか…？
あっ…
何も考えられない
今だけは
恋人同士だった
時みたいに…

はぁ…
あ…んっ
いいいの…
もっと…！
もっと
して…

12:23
5月17日 月曜日




ふう…

慎…
遅いなぁ
今頃
何処で
何してるんだろ？

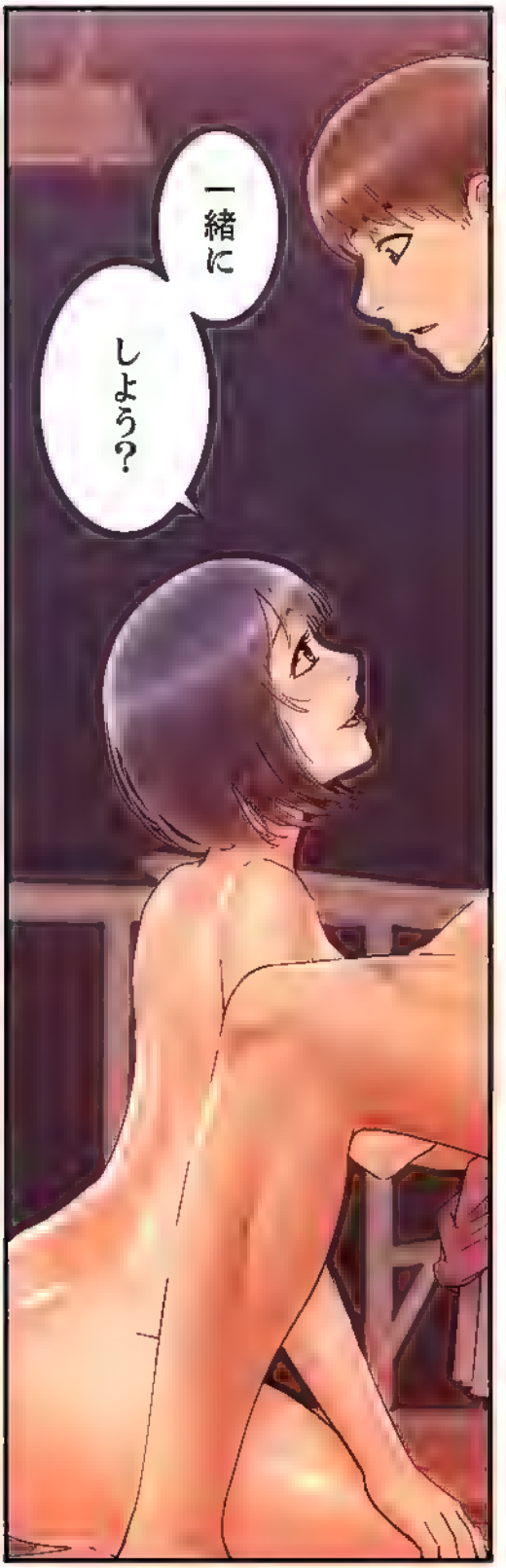
うっ……！
この感じ…
久しぶりだ

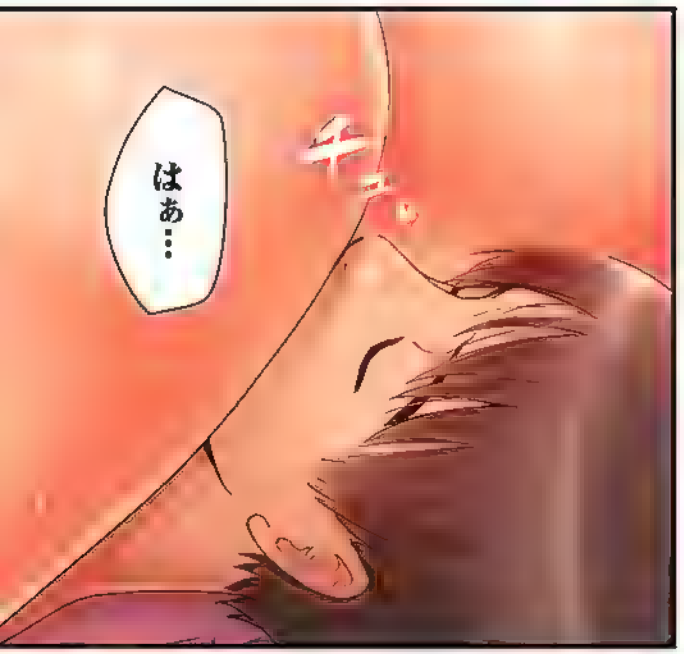
香奈美はいつも丁寧に口でシてくれたな…
ヤニヤ

はぁ…慎…

ここ…
相変わらず大きいね

はうっ
チュパ
あぁ…っ
チュウ


一緒に
しよう？


はぁ…
チュ

ピクッ
ああっ！
上手過ぎ…
こういう事
久々って
嘘でしょ？
本当だって
香奈美が好きなとこは
まだ覚えてるってだけ
あ…！

ピクッ
あっ！
はぅぅぅん…
ひゃっ…

はうっ…
ああぁんっ！

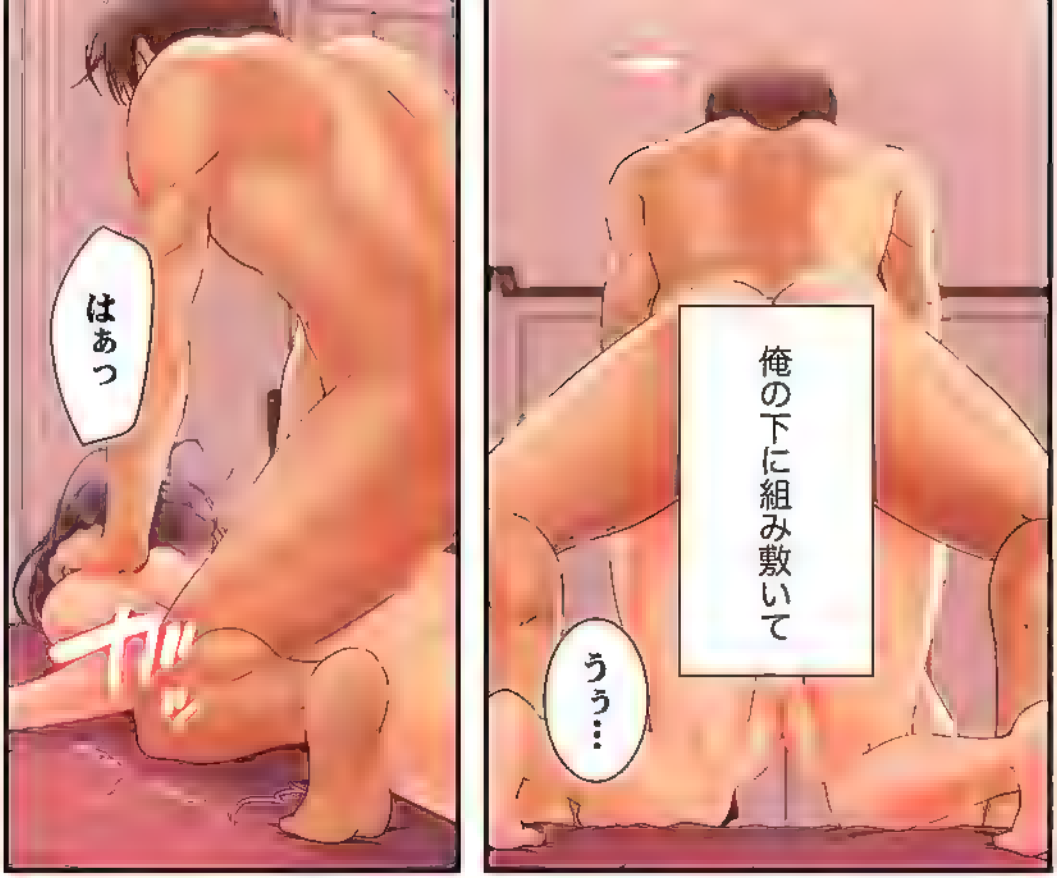
う…んっ

全部覚えてる
香奈美は指で
ここを攻めてから

駄目っ！
そんなに…
あうっ！

いきなり
挿れるのが好きだ
はぁっ！

あっ！
あんっ！
それから…


俺の下に組み敷いて
うぅ…
はぁっ

両腕を持って
上半身を持ち上げる
あっ…

そのまま後ろから
激しく突けば…
はあああっ!!
一段と大きな
声をあげる
あぁんっ!
あああっ…!
あんっ!
はうっ!

俺に会いたかった本当の理由を…
はうっ…
あっ…
俺の身体が恋しかったんだろ?

香奈美
あっ!
あうっ
正直に言えよ

そ…そうよ…
ずっと慎とシたかった…!

他のどの男より
慎とエッチするのが
何倍も気持ちいいの！

あっ！
だから俺と
やり直したいのか？

ち…違うわ！
私は本気で…
慎と…あっ…！

今更そんな事
言っても無駄だよ
はぁあ…ん！

はぁ…
はぁ…！
ああっ！
イク…！

駄目ぇ！
ああっ！

はぁ…
はぁっ

駄目！
もう…！
あぁぁんっ！

はぁ
はぁ
激し過ぎるよ…

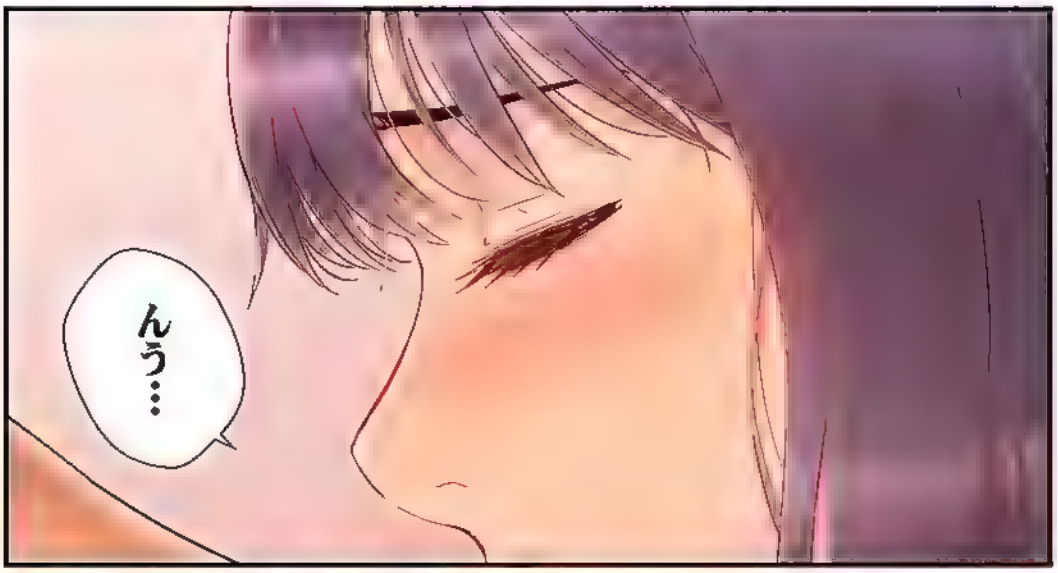
あうっ…

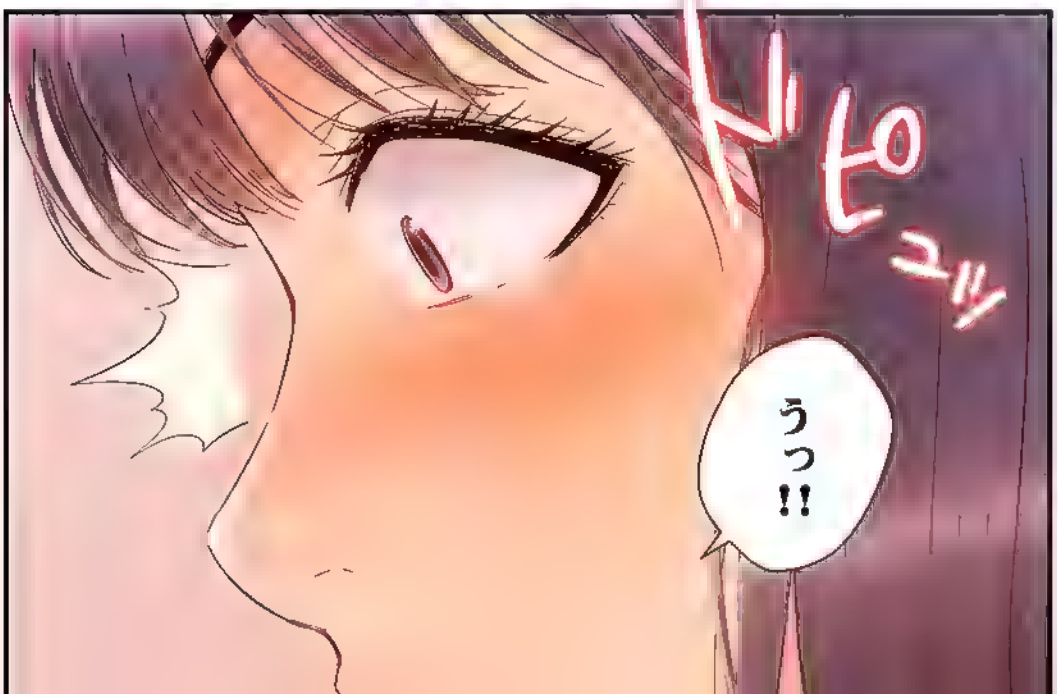
今度は
私がするね

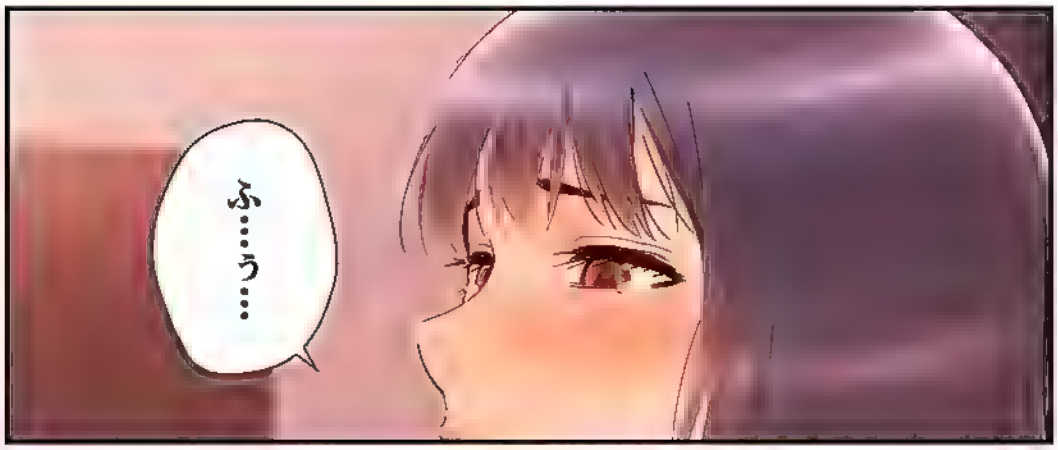
出す時は…
口に出してね？

あん…
ズプッ
気持ち…良いっ
ズプッ
は…う
うっ…！
もう少しで…
あ…あぁんっ！

ハァハァ
くぅっ…
出るっ！

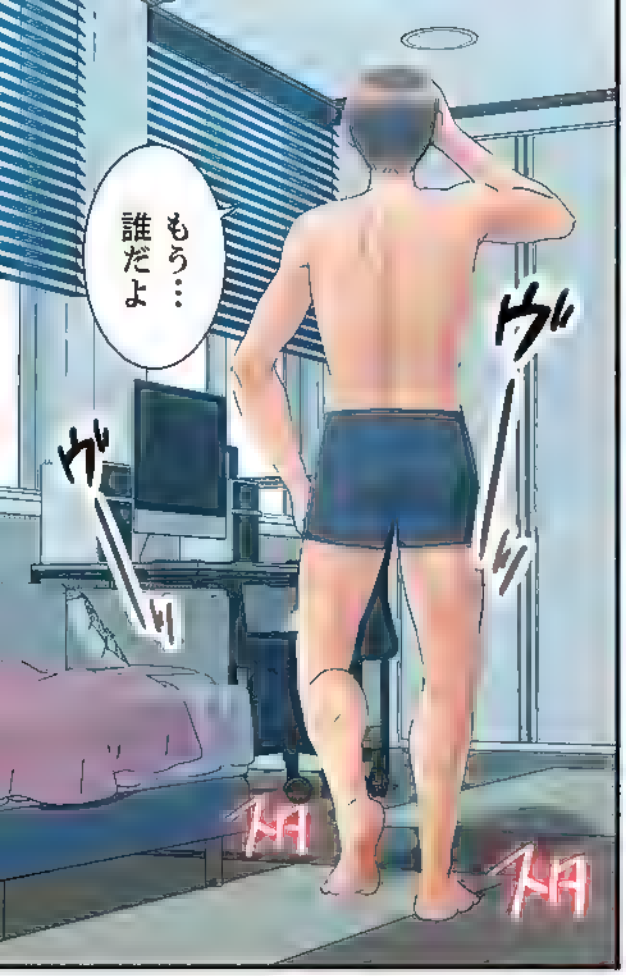

んぅ…


ドピュッ
うっ!!


…ふ…う…

はあ
はあ
だら～

ウル
ウル
ウル
う…ん？


もう…
誰だよ
ウ
ゲ
ハ
ハ

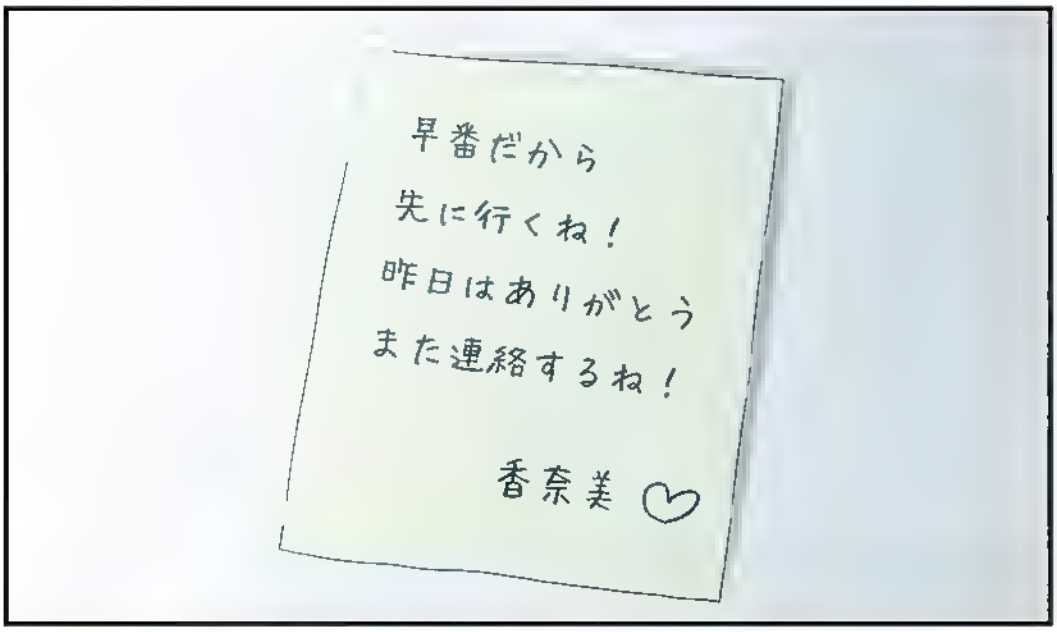
ゲ
痛てて…
ガ
バ

まつうら
松浦教授
ウ
ゲ
午前 9:55
メッセージ
拒絶
応答

ハアハアハア

そうだよ今日は
月曜じゃないか！
香奈美は!?
起こしてくれれば
いいのに！

！

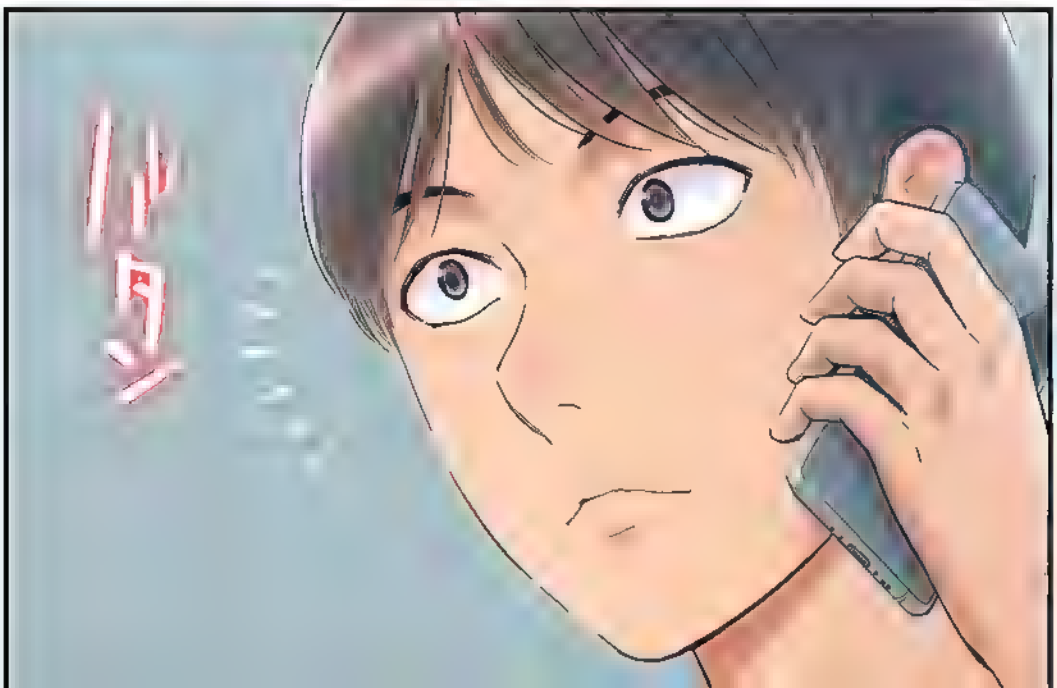

早番だから
先に行くね！
昨日はありがとう
また連絡するね！
香奈美

……
困ったな…

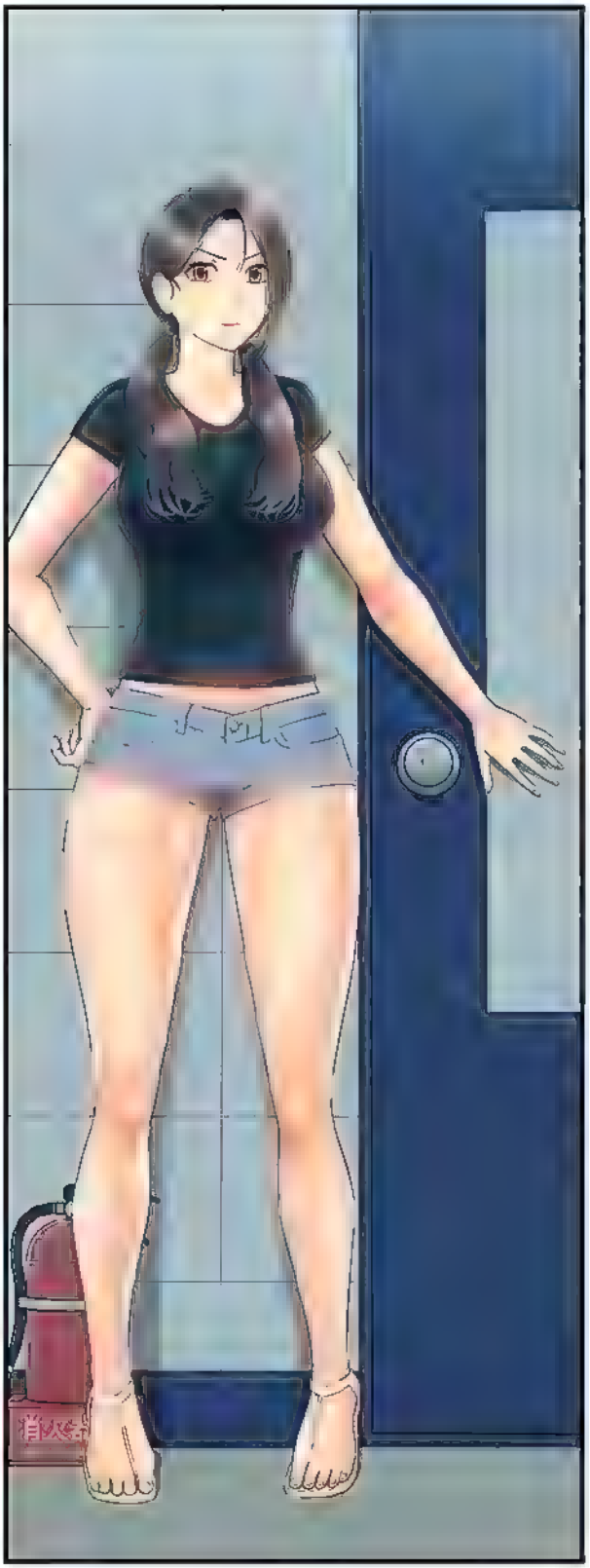
もうじき終わります！
はい…すみません

申し訳ありません
教授…

はい…
すぐに…！



莉奈？
どうした？



ねぇ…
昨日どうして
帰って来なかったの？

え～と…
もしかして
一緒だったの？
女と

お…
女？

昨日はその…
暫く会ってなかった
友達と飲みに行って
なかなか話が
尽きなくてさ

本当に？
電話してる時の感じじゃ
そんな風には
見えなかったけど…

莉奈は
知らなくて
いいってば
誰と何してたか
一々報告する
必要あるのか？
彼女でもないのに…
!!

お母さんも
私も心配したんだよ!?
連絡ぐらい
出来るじゃん！
あっ…

イラ
イラ
分かったよ
ごめんな
私もすっごく
心配したの!!

ボリ
ボリ
涼子さんにも
心配かけちゃったか…
それは
悪い事したな…

ぶへ
お母さんより
心配して
たのに…
ぶへ
涼子さんにちゃんと
謝らないとな…

翌日

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ

はぁ
ビク

はぁ
はぁ
はぁ

あ…また…
最近ずっと
エッチな夢ばかり見るわ…

軽く運動して

火照った身体を冷まさないと…

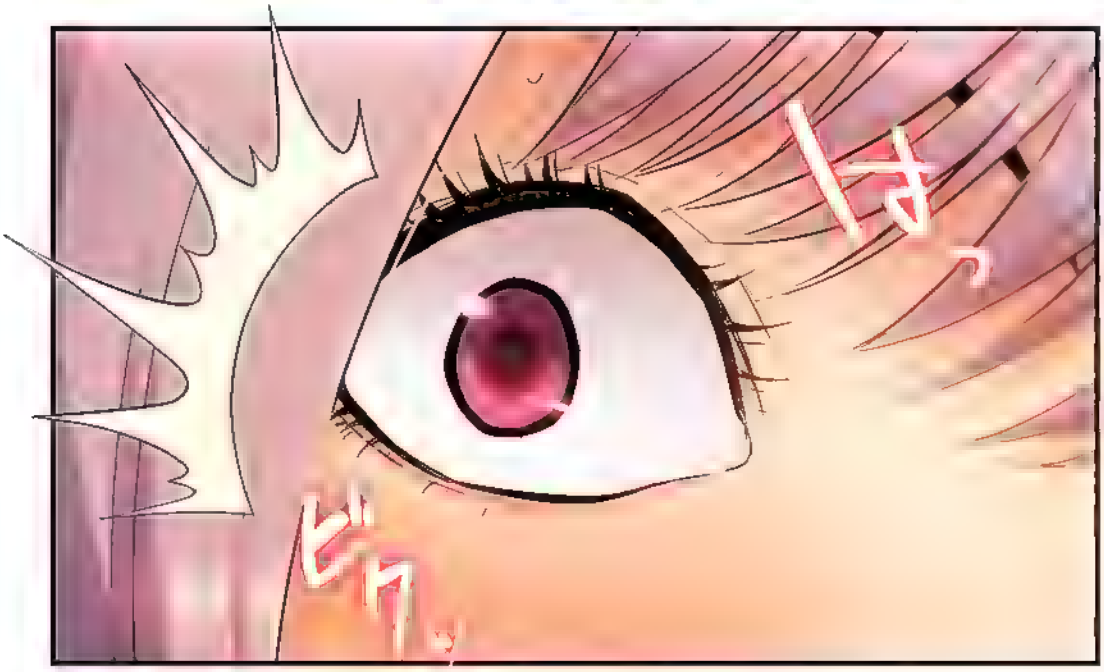
ほ
？

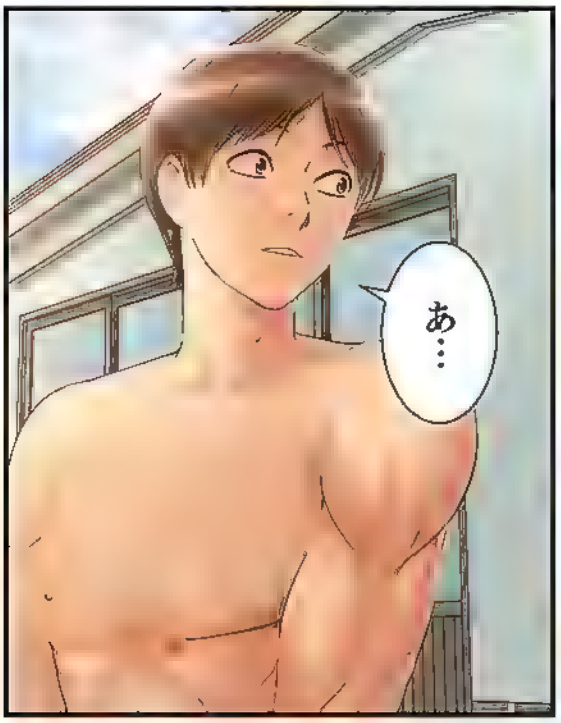
スタ

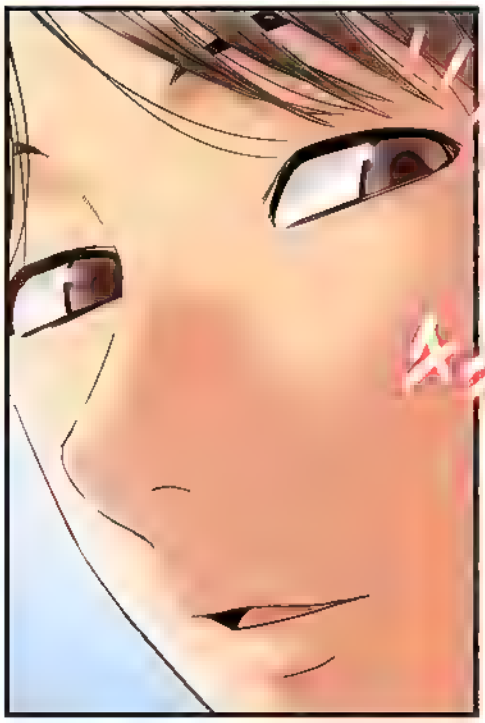
慎くん？
運動してるのかな

慎くん？
おはよ…

ヨッ
ヨッ


はっ
ビクッ


あ…


ハッ!!

ご…
ごめんなさい!

涼子さん…!
!!

…莉奈に
聞いたんですけど

ちゃんと連絡
するべきでしたね
次は気を付けます

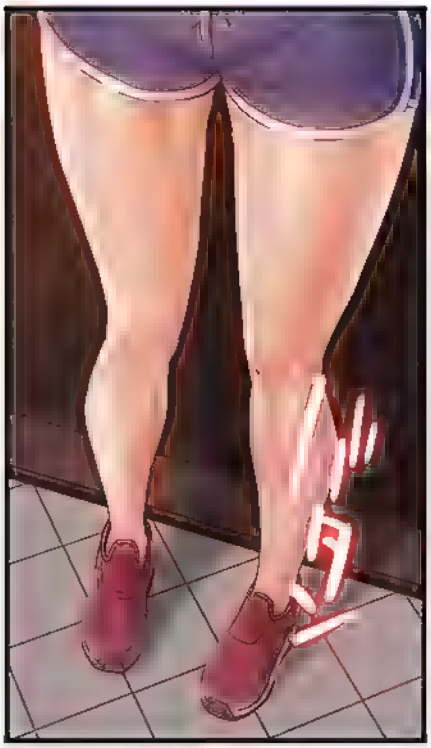
この前の日曜…
心配かけちゃって
すみませんでした
！

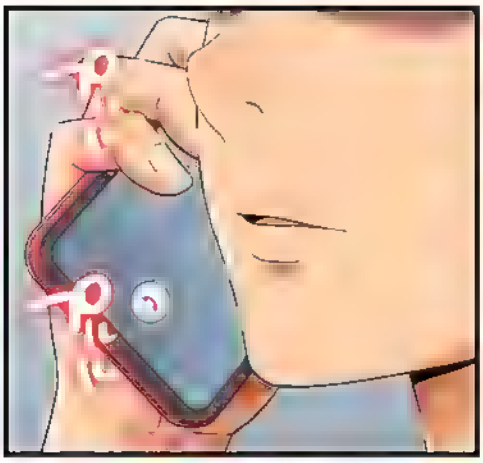
私達が勝手に
心配しただけよ
あまり
気にしないで

大丈夫よ
慎くんが私達に
連絡する義務は
ないんだもの

慎くんの好きにしてちょうだい？
あ…
はい

じゃあ…私は戻るわね
はい





ブルルン…

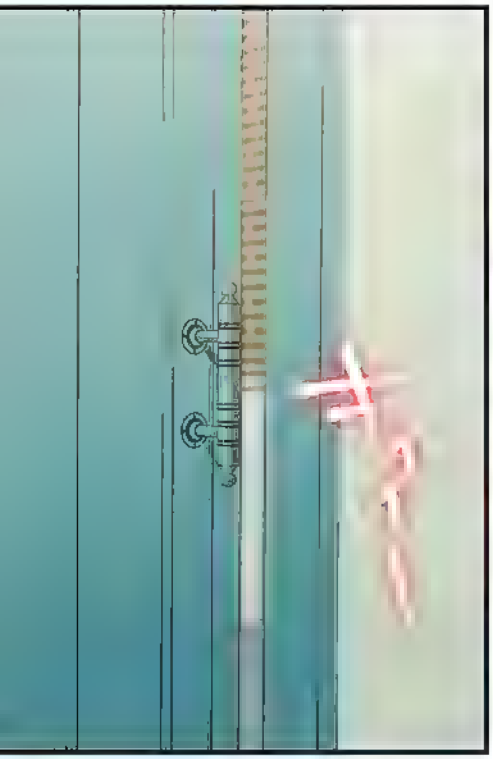
ただいま
電話に出る事が…
はぁ？兄さんめ…
何で出ないんだよ

パソコン
返したいのに…
返すだけだし
行ってもいいか

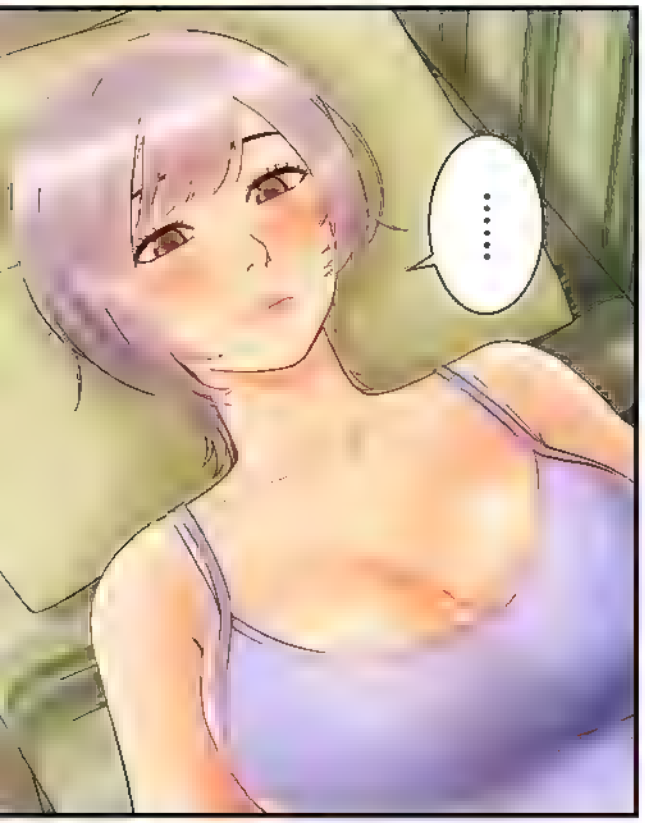
ブロロ…
面倒だなぁ…

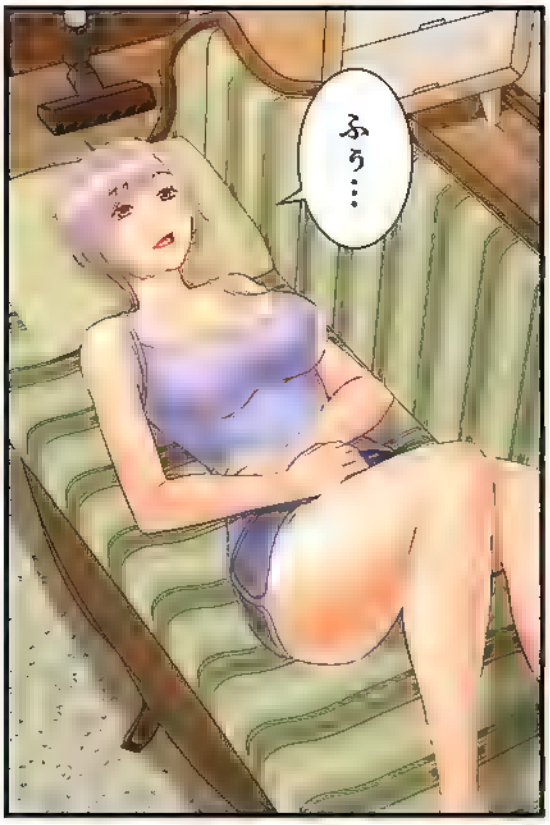
おはよう！
行ってきま～す！
キィー
トタ

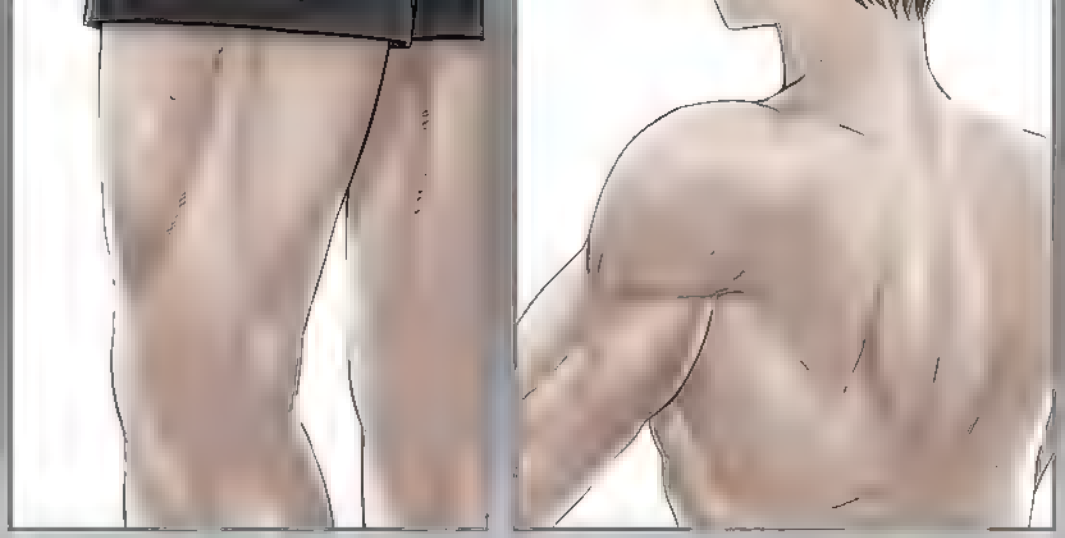
あれ!?
遅刻かも…！
行ってらっしゃい！
気を付けるのよ
タタッ

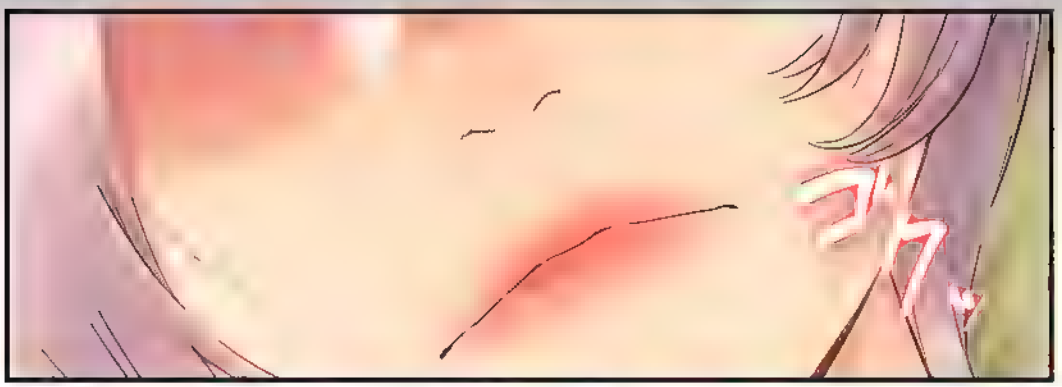


ガンバレ〜！


……


ふう…




ゴクッ

慎くんの身体を見たせいかな？

ピクン
あ…
私…
どうしちゃったの？

慎くんの事
考えながら
こんな事
するなんて…
ちゅぱ
ちゅぱ
あぁっ！
慎くん…！
涼子さん…
くっ！

はあっ！
はうっ
気持ちいいわ…！
もっと…
もっと…！
奥までっ
強く…！

あ…はあっ！
ビク
ああっ！
はぁぁぁん!!

はふうっ…
はぁ…
はっ…

スタ

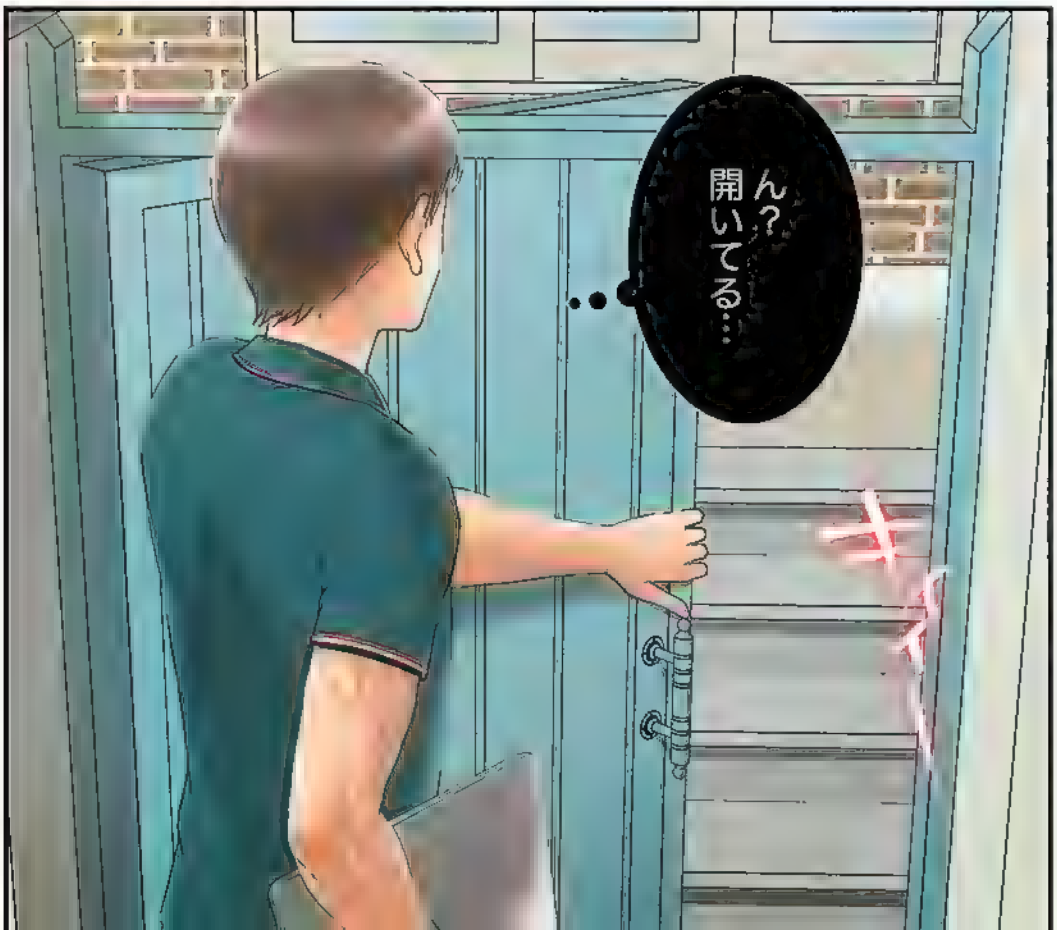
あ…

し…
慎…くん…？

ドキン
ドキン

この家…だよな？

数分前
ドッ


ん？開いてる…
キィィ

こんにちは
お邪魔しま～す
ヌッ

ビク
はぁぁぁん!!

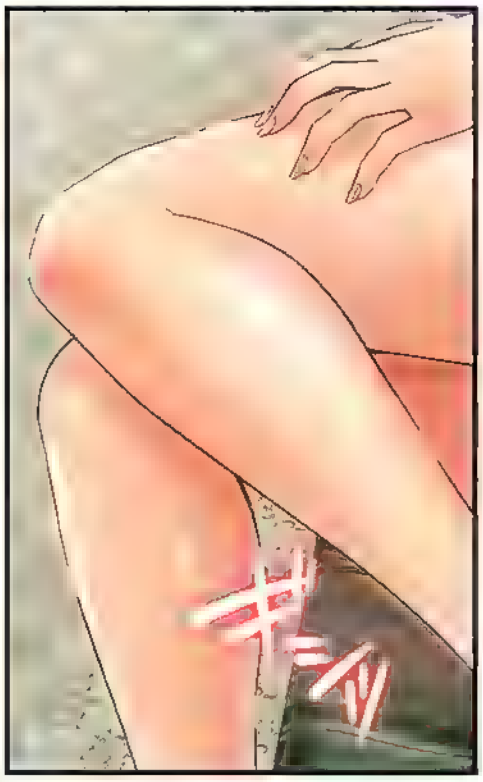
何だ!?

!?

!

し…
慎…くん…？

あっ…
うぅ…
ふら
ふら


ギシッ

きゃあああっ！
バタンッ

何だ？
この状況は…
痛っ
この女…
どうして鍵もかけずに
リビングでこんな事…！
ええと…すみません
邪魔しちゃって…
俺はこれで…
待って！

わ…私の話を
聞いて…？

……

ゴーッ

誰なんだよ
この女…
ズッ

大家か？
それにしちゃ
若いか
俺とそんなに
歳も変わらなそうだし
ていうか…この女
凄いおっぱいじゃん
慎くん…

こんな姿を
見せてしまって
本当に
ごめんなさい

俺を兄さんと勘違いしてるな？さっきから慎って呼んでるし

あ～…俺は兄さ…

お願い！

この事は無かった事にしてほしいの…

駄目…？

う～ん…

特に莉奈には内緒に…
莉奈？

ちょっと面白そうだし
ええもちろん秘密にします
兄さんのフリしてみるか

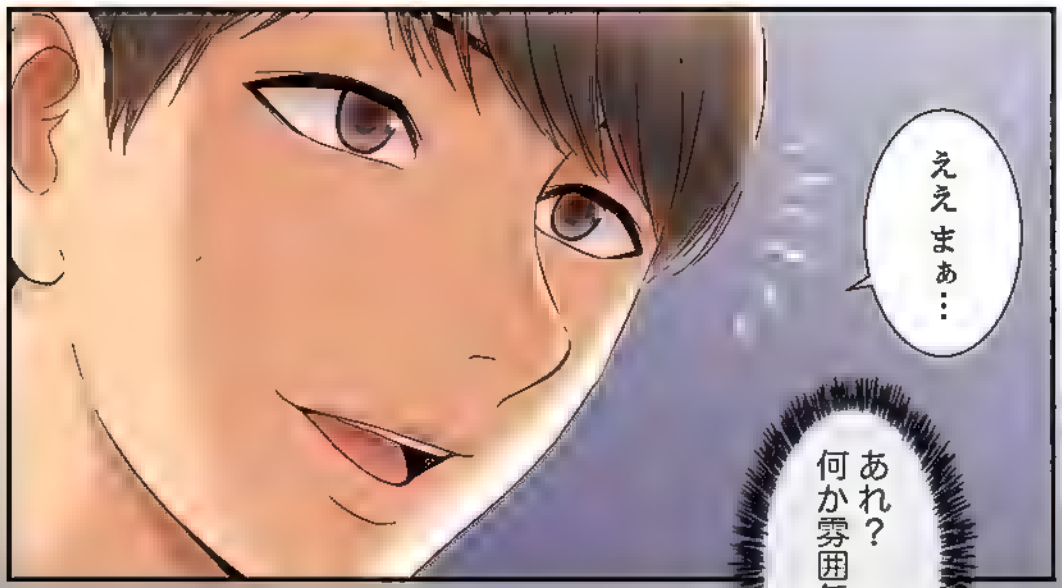
ありがとう
慎くんも
知ってる通り
18年間
夢中で莉奈を
育ててたから
男性との
出会いも無くて
え？
莉奈って
娘なのか？
しかも
18年って…

た…たまに
我慢出来なく
なった時に…ね？
そんなに
しょっちゅうじゃ
ないのよ？

ごめんよ兄さん！
一日に2回も3回もしたり！
俺もよくやります！

ははっ！別にいいと思います自然な事ですよ

え!?そうなの？



あれ？
何か雰囲気が…

この女…
まさか兄さんを？

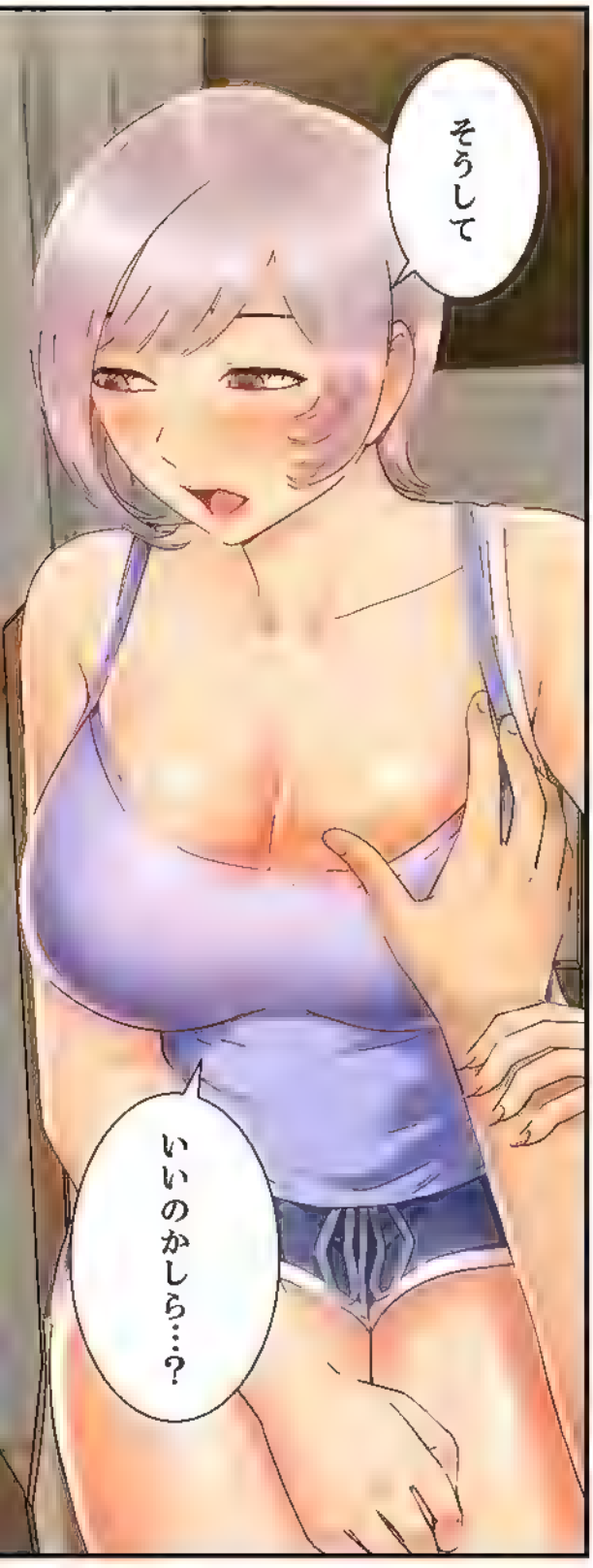
もしかして…
出会いを求めない
理由があるんですか？
！

え？
おかしいでしょう？

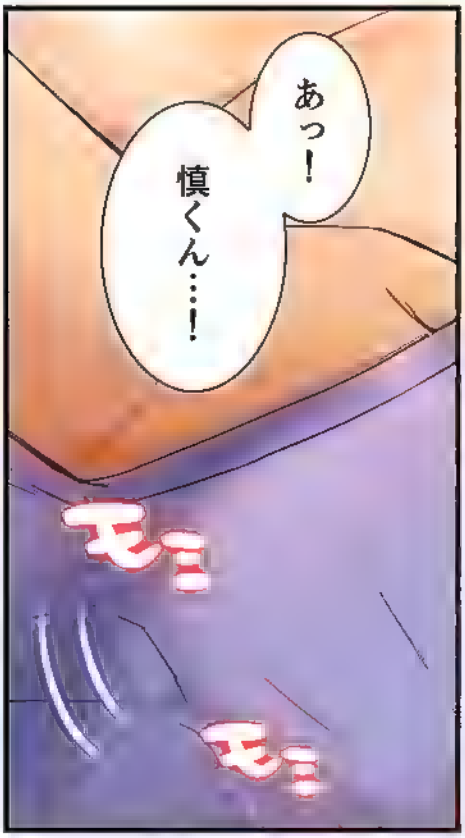
ビクッ
こんなに美人なのに…
どうして恋人を作らないんですか？
それは…
莉奈を育てるのに余裕がなくて…
莉奈ももう大人なんですし

自分の事を
優先しても
いいのでは？

本当に…


そうして
いいのかしら…？

何だ？
この女思ったより
積極的じゃん
兄さん…
いいよな？


あっ！
慎くん…！
モミ
モミ

俺でよかったら

あうっ…
だ…駄目よ

ほら…
男が触った方が
気持ち
いいでしょ？
あっ…

はうっ…
胸触っただけで
こんなに感じるなんて

あぅっ…
駄目よ…

慎くん…！
あっ…
本当に溜まってたみたいだな

あぁっ…慎くん！

やっぱり駄目よ…
今のは無かった事にしましょう
ごめんね…

…えっ？
何か…違和感が…
お母さ～ん！

私って本当馬鹿！
スマホ忘れた！

…あれ？

あ…いや…
…慎？
どうしてこんな時間に？

俺も忘れ物したんだ
もう行くよ
この子が莉奈か

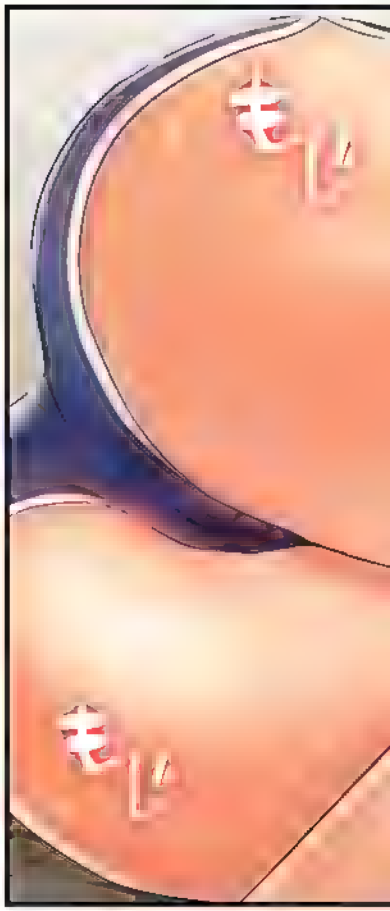
あ！じゃあ
学校まで車で
送ってくれる？
いや…ちょっと
寄るところが
あるんだよ
え!?
ちょっと！
ヨタヨタッ
ごめん！

ケチ～！
……

トサッ
ふう…

パーン

慎くん…


もに
もに

雪奈美
眠れなくて…
少し話さない？
午前12:00
遅いしもう寝ろよ
午前12:32
俺はもう寝る

はぁ…
ハッキリ断るべきだったな

普通に連絡してくる…
まるで昔みたいに…
ﾖｯ
ﾖｯ

でも…

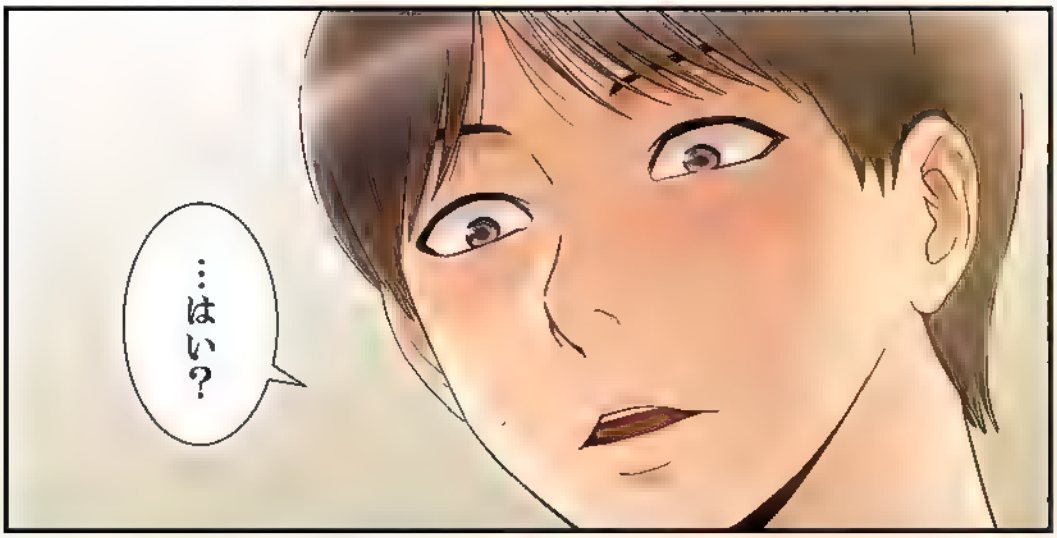
久しぶりのセックスは
本当に気持ちよかった

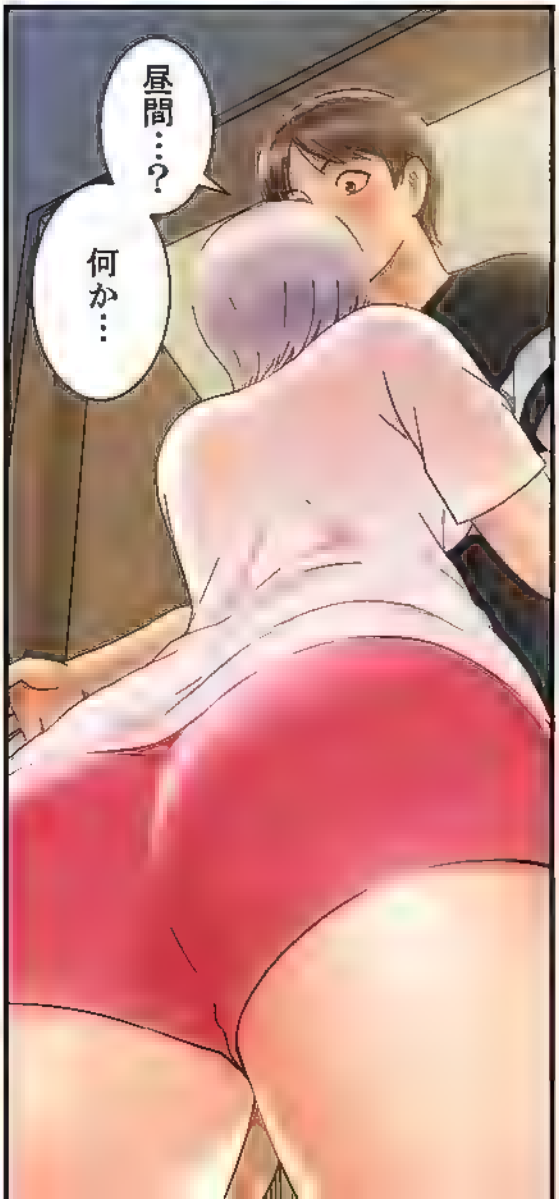
暫く平気だったのに
一度ヤッたらまたヤりたくなってきた

慎くん？
ちょっといい？
！
ガチャ
涼子さん？
こんな時間に
どうし…
ビク

慎くん…

昼間の続き…
しましょ…？


…はい？


昼間…？
何か…

触ったじゃない…
私の胸…

タタッ
えっ！
俺が!?
とぼけないで

このままじゃ
駄目だと思うの
パターン

ちゃんと…
責任とって？

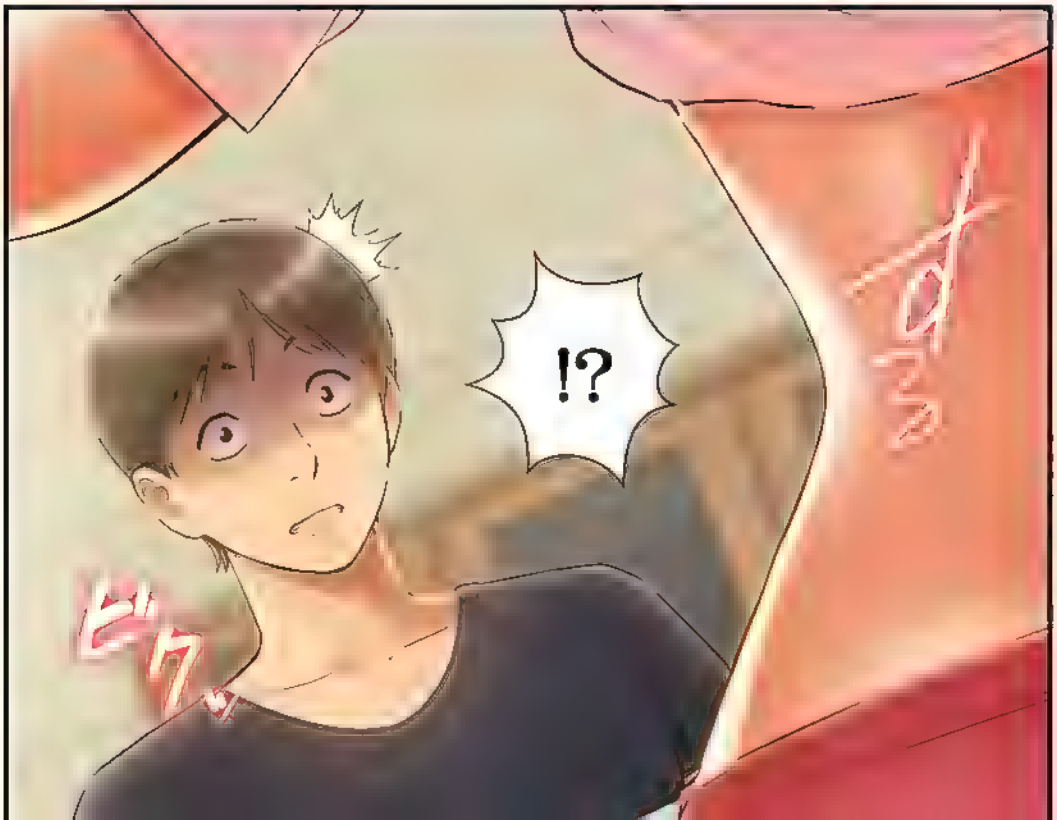
涼子さん…
もしかして酔ってます？
お酒臭いですよ
部屋で
休んだ方が…

お酒？
少し飲んだけど…
平気よ

だって素面じゃ
顔が合わせられなくて

すぐに慎くんに
会いに来たわ

何をしてても
昼間の事
思い出すの…
我慢出来なくて
？


!?
ビクッ

下着は…
着けずに…

いやいや！
ちょ…ちょっと
待ってください！
困ります！

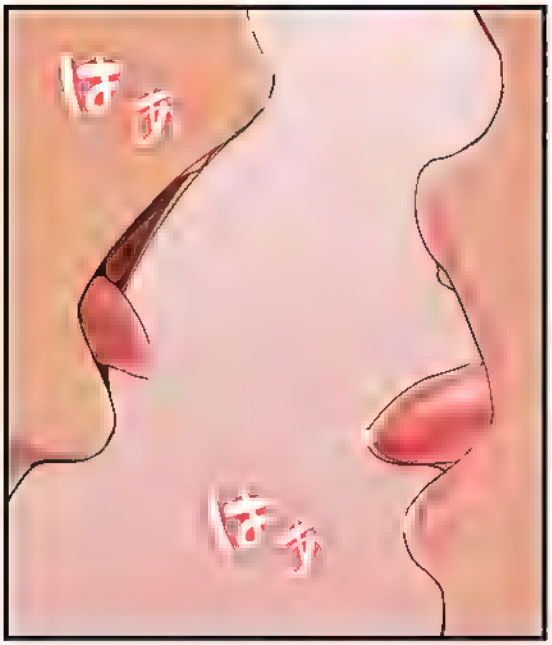
どうして？

今ここには
私達二人だけ
なのに

慎くんだって
寂しいんでしょ？
んぅ…！
ふ…
い…一体
どうなってるんだ
うぅ…ん

涼子さん…
凄く積極的だ
チュッ
うぅん…

うっ
チュッ
うぅっ…
ドーン


はぁ
はぁ

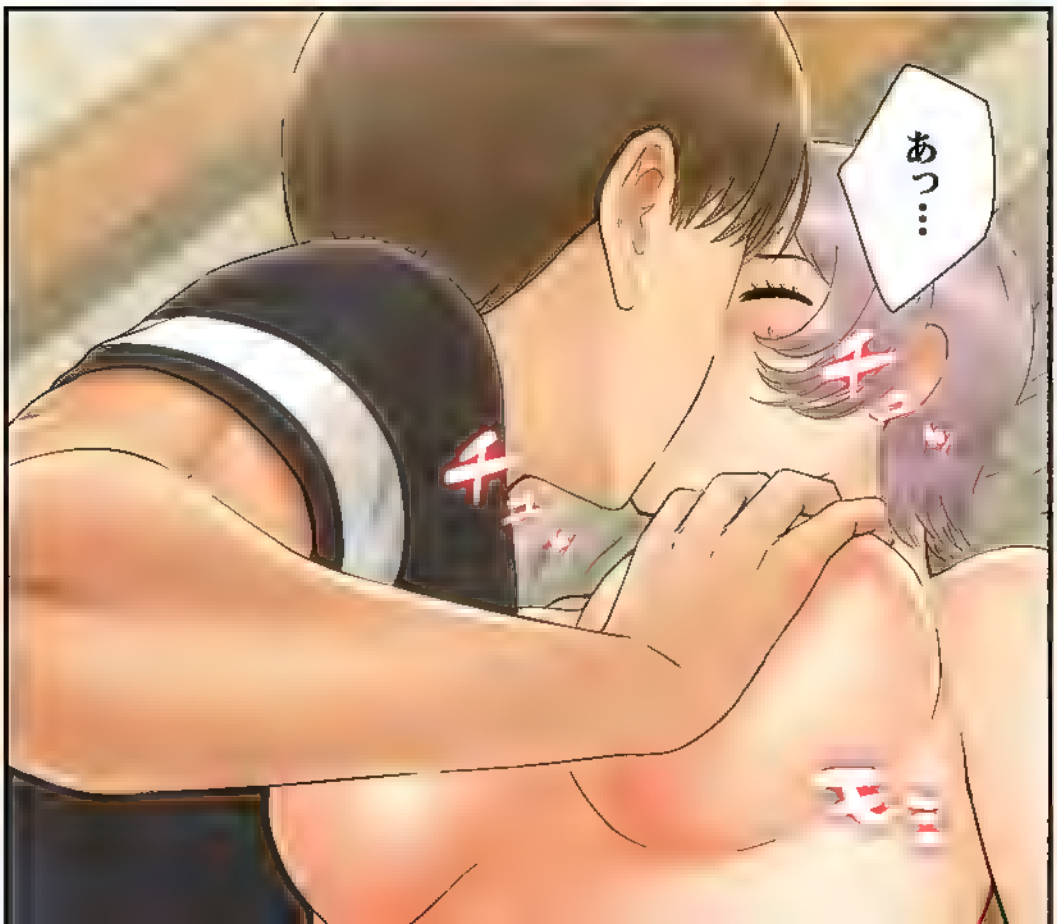
ごめんね
久しぶりだったから
興奮しちゃった

ヤバい…
涼子さん…

もう
これは…
止まれない！

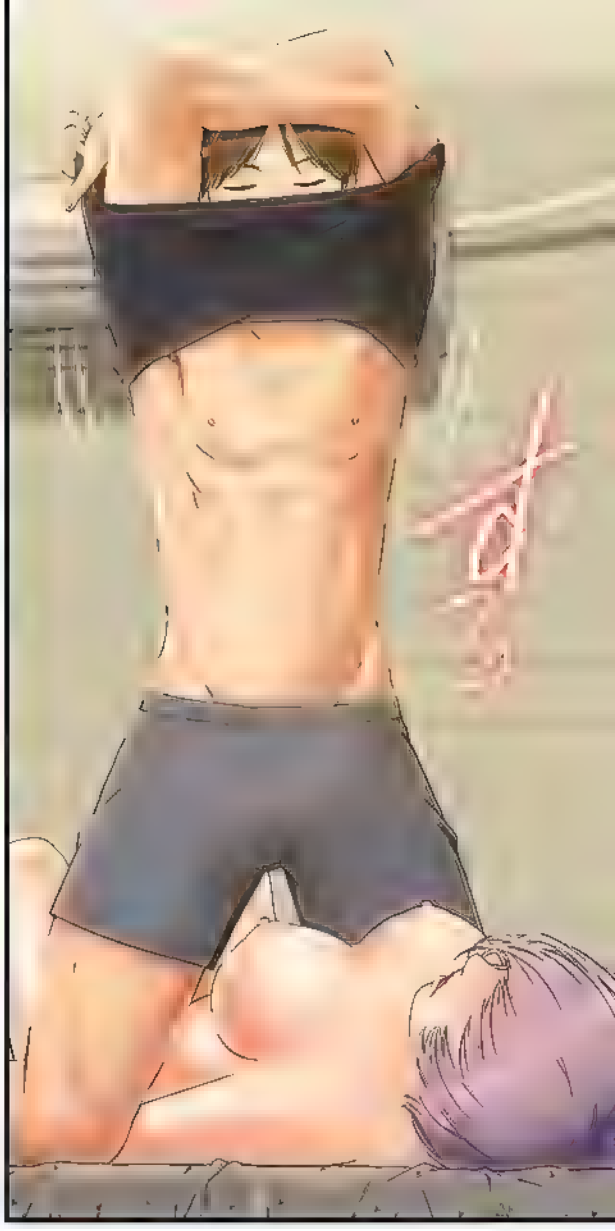
ふ…

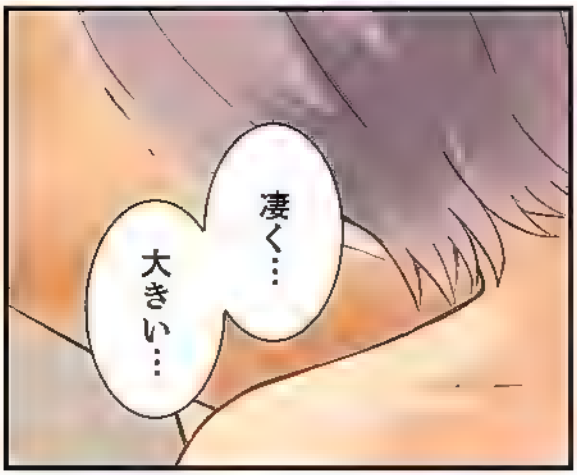
んっ！

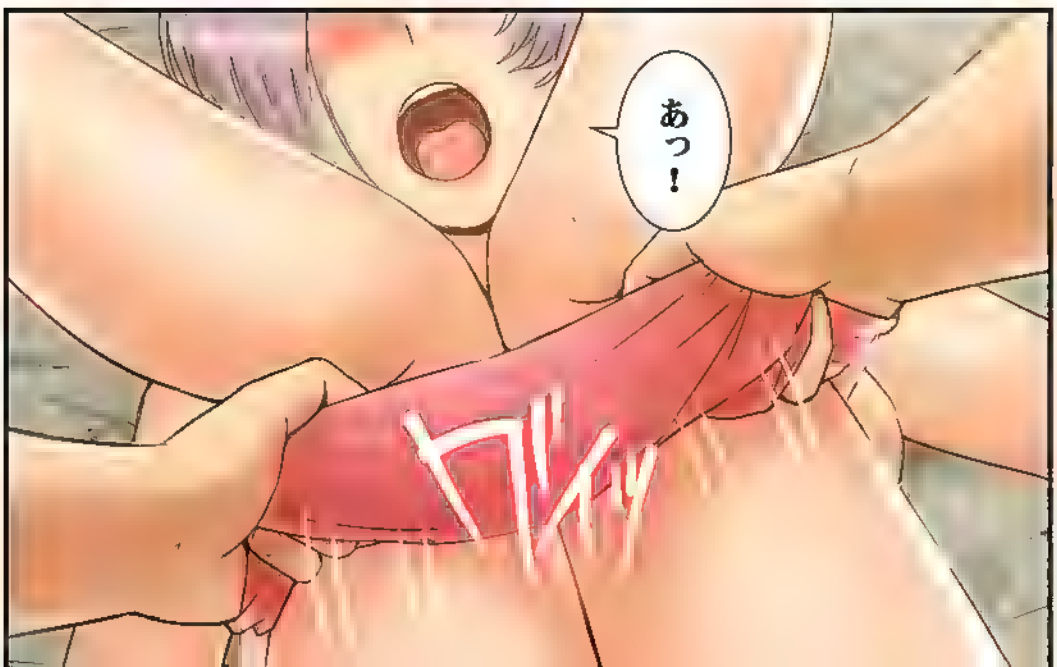

あっ…

はあ…ん
あっ…
慎くん…
何も…
考えられない
はぁ
はぁ

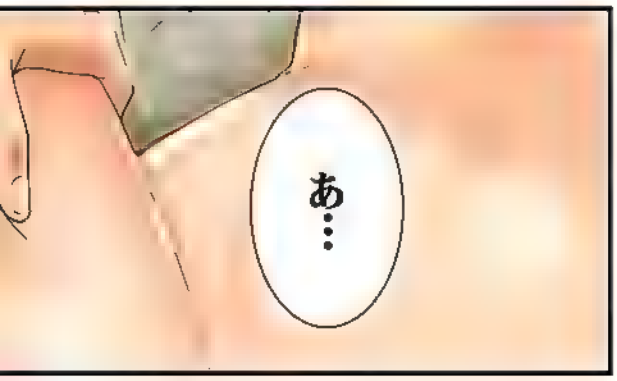
！




凄く…
大きい…

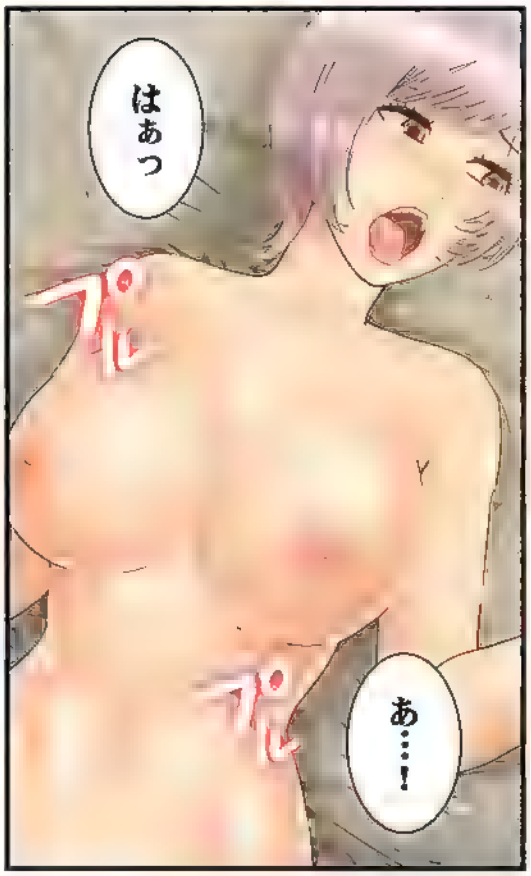

あっ！

わ…私
久しぶりだから
ちょっと
心の準備を…


あ…

ひゃあ…っ

い…
あっ…
一気に奥まで……！
？
違う…？まだ
半分…しか
あぁ…
はうっ…！


はぁっ
あ…！

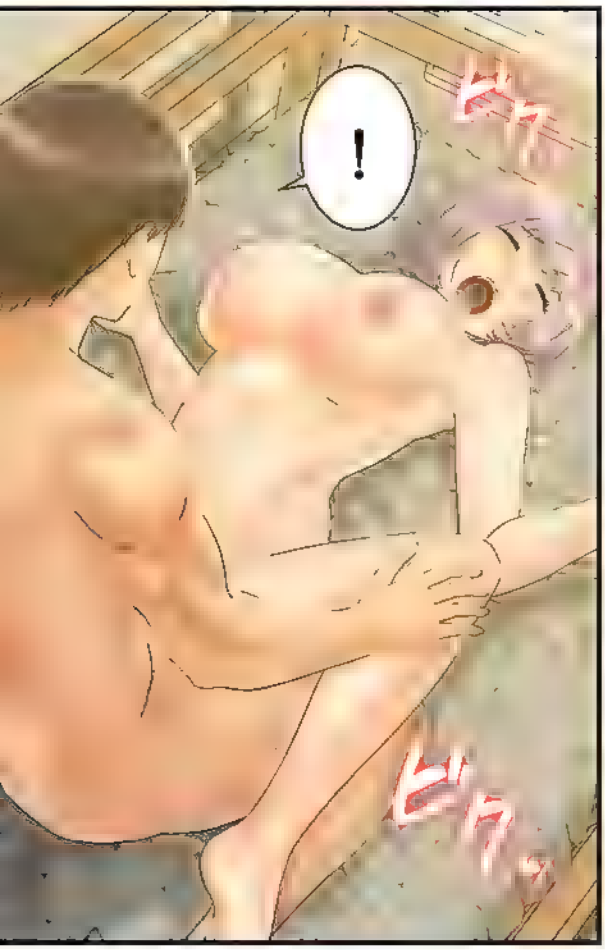
思ったより凄く…！
キツいな…

こんな事したら駄目かもしれない…
でももう後戻り出来ない！
はうっ!!

ま…待って
慎くん…！

もう…
駄目っ！

少し…
ゆっくり…

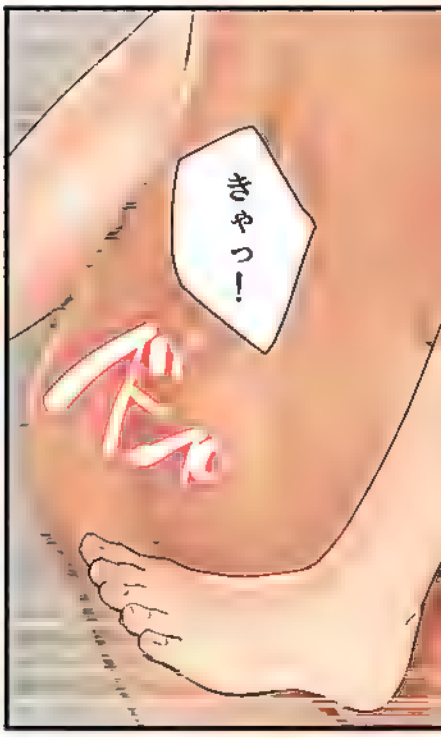

！

ひやぁあっ…!!

涼子さん…

激し過ぎて
私…

ギ=ル
待って…！
少し…休ませ…
あんっ！
ギ=ル


きゃっ！
ズ…

はぁあっ！
あっ…あっ！

…っ！
いくら久しぶりとはいえ
こんなに感じるものなのか？

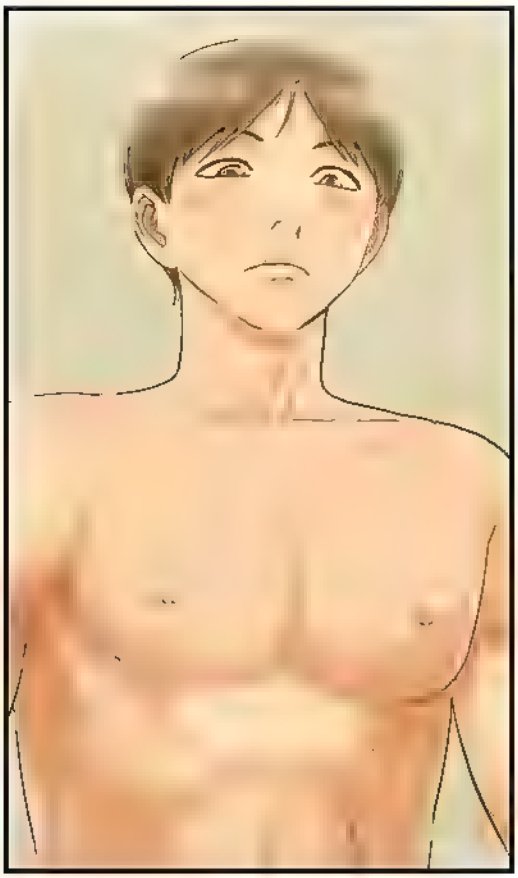
!!
きゃっ！

そこまで激しくしてないのに感じ過ぎだろ…
はうっ！
慎くん！
あんっ！

だめぇ…
イッちゃう！

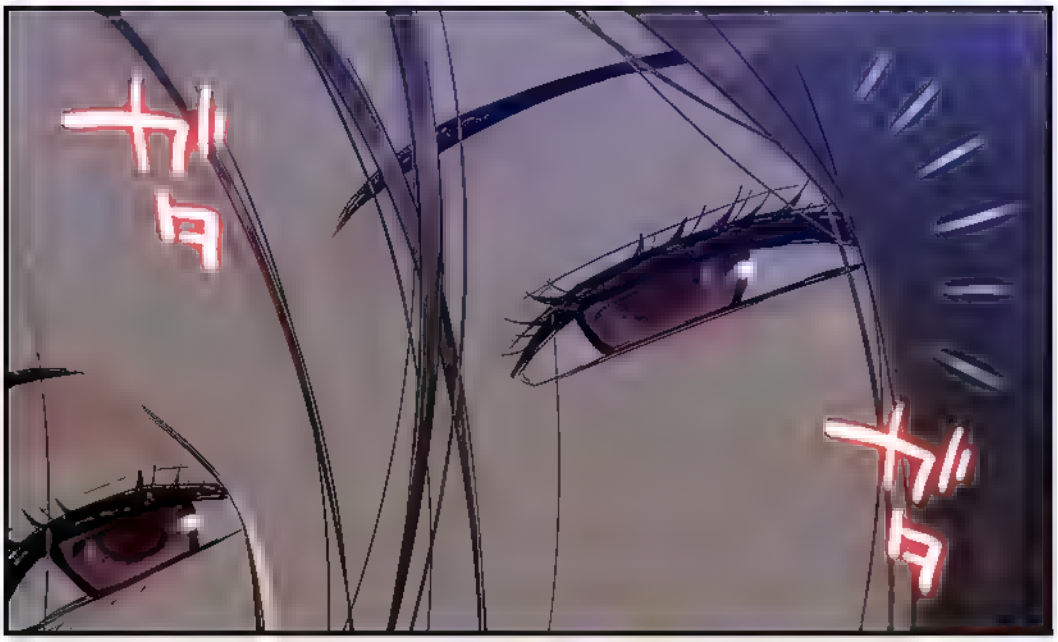
涼子さん！
大丈夫ですか!?

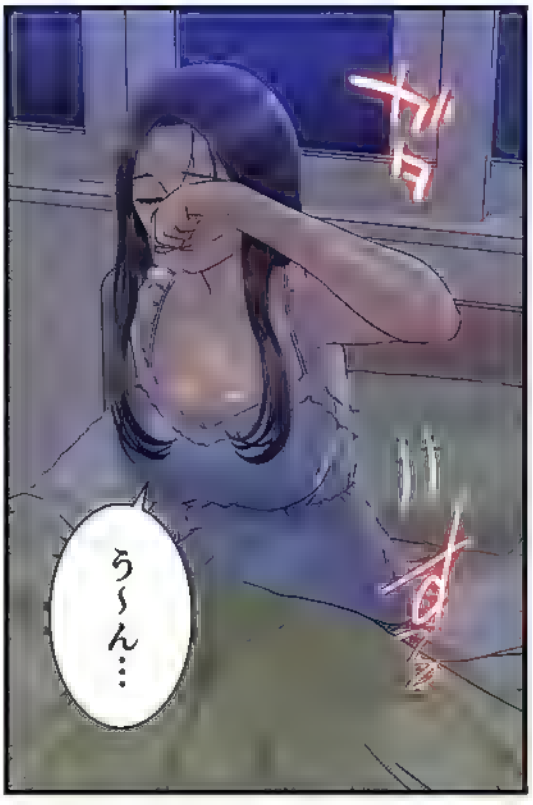
あっ…

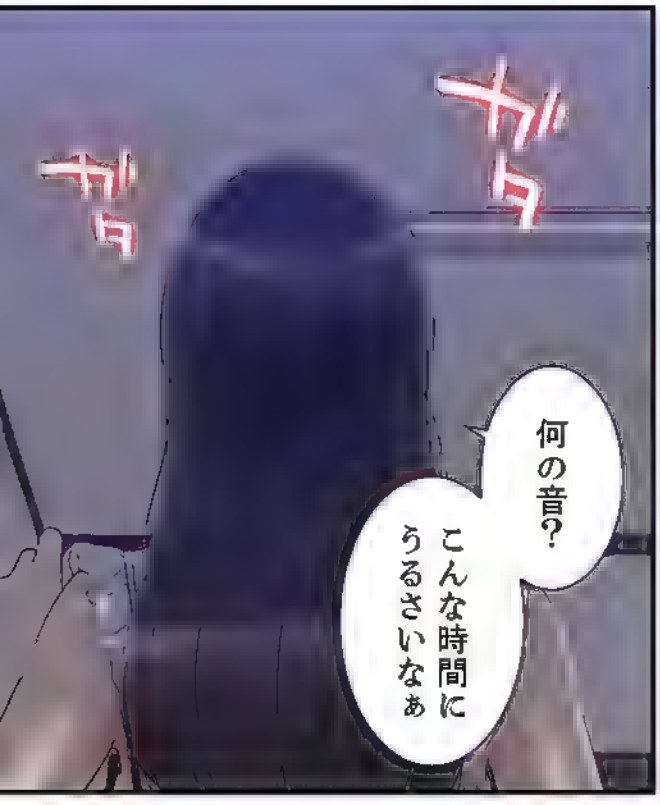


フル
あ…
大丈夫よ…
フル

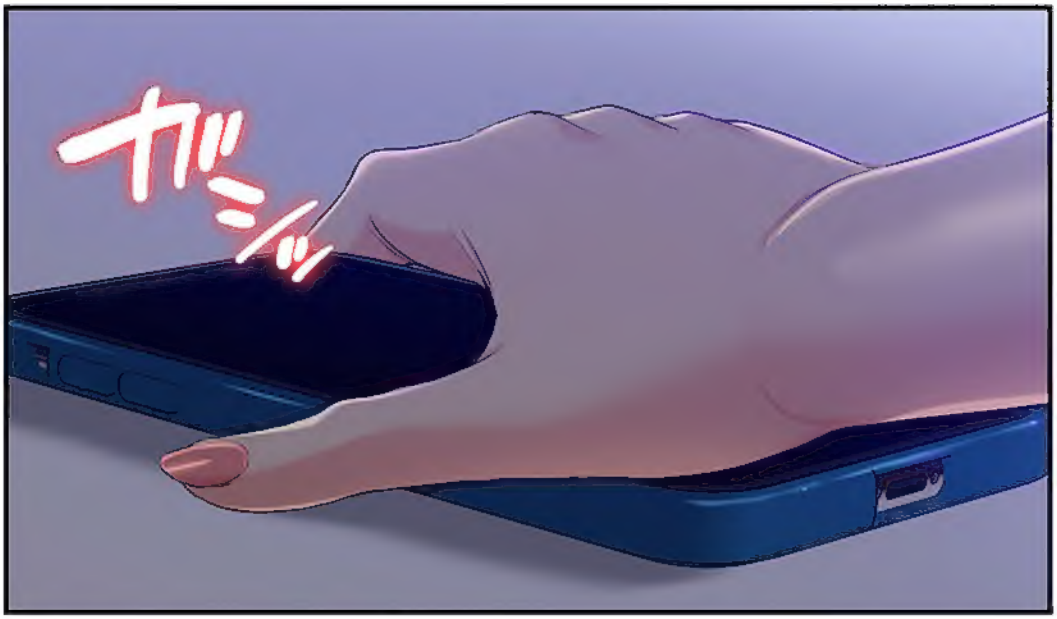
ゴク…




う～ん…


何の音？
こんな時間にうるさいなぁ

何時だと
思ってんのよ！
ムッ
ムッ
許さない…！


ガニッ

好評配信中

感情がほとばしる！衝撃が止まらない！

Rush! ラッシュ

\\電子単行本版も好評配信中! //

桃色サンドイッチ 【合本版】 1

著者　SSAEM

発行　Rush!

表紙デザイン　CoCo.Design

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©SSAEM 2024